

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会 事務事業点検・評価報告書 (令和4年度事業分)

令和5年 12 月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	4～20
(2)	教育委員会事業	21～25
(3)	学校関係事業	25～40
(4)	給食センター事業	75～78

社会教育課

(5)	社会教育事業	40～46、59～61
(6)	芸術・文化事業	46～50、53～57
(7)	図書館事業	51～53
(8)	文化財事業	62～71
(9)	社会体育事業	58、71～75、78～85
IV	学識経験者の意見	86
V	参考資料	93
	■令和4年度福崎町教育の努力目標	94
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	99

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和4年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実施方針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとしします。

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

Ⅲ 事務事業点検・評価表

3. 民 生 費

住民生活に密着したサービスを提供するために要した経費で、保健、医療、福祉と連携し、高齢者や障がい者等「住民誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり」に努めました。今後も少子高齢化や共生社会に対応するため実情に応じた福祉サービスを行い、誰もがより良い日常生活を継続できるよう支援していきます。

また、認定こども園では、子どもの健やかな育ちと豊かな人間形成が可能となるよう、就学前教育・保育の充実を図りました。

防犯面では、福崎町防犯指導委員会によるパトロールやキャンペーンを実施し、住民の防犯意識の高揚を図り、安全安心に暮らせるまちづくりの推進に努めました。

1 次評価：A

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児 童 福 祉 費	1. 児 童 福 祉 総 務 費	78,782,000 円	77,077,270 円	1,704,730 円

児童の健全な育成のため、障がいのある児童に対して年金や就学援助金を支給したほか、母子・父子家庭にも就学援助金を支給しました。また、赤ちゃん誕生祝記念品として「あかちゃん日記」等の贈呈をしました。

子ども・子育て支援事業では、福崎町子ども・子育て会議を開催し、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」について、中間見直しを行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実 包括的・継続的な相談支援体制の構築
	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総	◆ 取 組 内 容	地域全体で支える子育ての推進	経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続

事業名／子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取 組 内 容	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定	
総	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

◆事業内容(目的・必要性)

令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況を確認するとともに、計画の中間見直しを行うため、福崎町子ども・子育て会議を開催しました。また、幼児教育・保育に係る公定価格の改定に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

病気やけがで集団生活ができない児童と保護者への支援を行うため、神崎郡3町で病児保育事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15名

- ・子どもの保護者 5名
- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5名
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5名

○会議開催 2回（令和4年7月27日、令和5年2月2日）

■子ども・子育て支援システム改修等

○業務の内容

子ども・子育て支援新制度システム公定価格マスターデータ設定委託料 165,000円

○業務委託業者 (株)さくらケーシーエス

■病児保育事業

○実施場所

神崎郡病児病後児保育施設（ケアステーションかんざき2階）

○利用者の状況 延べ10人

○負担金

病児保育事業負担金 626,000円

□効果・達成度

福崎町子ども・子育て会議を開催し、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」について、進捗状況の確認を行うとともに、計画の見直しについて審議し、中間改訂版を策定しました。

子ども・子育て支援システムの改修を行うことで、幼児教育・保育に係る適正な予算執行を行いました。神崎郡3町で病児保育事業を実施し、病児等の保育を行うことで子育て家庭の支援につなげることができました。

□課題・改善

計画の進捗について子ども・子育て会議の場において、点検・見直しを行い、計画に沿った事業を展開していく必要があります。病児保育事業については、保護者への周知に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,640,000	9,240,195	3,015,675			6,224,520

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	3. 保 育 所 費	9,960,000 ^円	8,295,170 ^円	1,664,830 ^円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所、私立小規模保育事業所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外私立保育所委託事業、町外小規模保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所

(単位：円)

施 設 名	委 託 料
香島保育園	2,943,010
神崎保育園	1,456,460
くりのみ保育園	138,320
白鳥南保育園	1,304,300
ごちゃく・にじいろ保育園・分園	1,429,000
計	7,271,090

■町外小規模保育事業所

(単位：円)

施 設 名	委 託 料
愛の光ナーサリー	1,024,080

□効果・達成度

町外私立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料の支払を行い、各施設の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も町外私立保育所等への適正な予算執行に努めていきます。

保育所等年間延べ利用児童数

(単位：人)

施 設 名		定員	利用延べ 児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
たつの市	香島保育園	50	17	5	12	0	0
神河町	神崎保育園	90	24	0	0	12	12
宍粟市	くりのみ保育所	80	1	0	1	0	0
姫路市	白鳥南保育園	60	9	0	9	0	0
	ごちゃく・にじいろ保育園・分園	20	7	0	7	0	0
加西市	愛の光ナーサリー	12	4	4	0	0	0
合 計			62	9	29	12	12

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,960,000	8,295,170	6,693,692		1,193,260	408,218

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	4. 認定こども園費	623,240,000 ^円	619,521,018 ^円	3,718,982 ^円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員20名及び会計年度任用職員に係る人件費、私立認定こども園及び町外公立認定こども園

への施設型給付費、事務費等です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒、検温等の感染症対策を徹底し、認定こども園における教育・保育を継続して提供しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	①就学前教育・保育の充実
総◆ 取 組 内 容	安心して子育てができる保育サービスの提供 必要な保育教諭数の確保	食育の推進、基本的生活習慣の確立 就学前教育から学校教育への円滑な接続
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	②環境の整備
総◆ 取 組 内 容	旧園舎部分の長寿命化整備	年齢構成に対応した園舎の改修
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総◆ 取 組 内 容	地域全体で支える子育ての推進	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総◆ 取 組 内 容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

事業名／認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。

教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会へのオンラインによる参加や職員の計画による園内研修を実施しました。

また、児童の安全対策と快適な保育環境づくりのため、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除、樹木の剪定等を行いました。

◆事業の成果

■園医等報酬

・内科医 793,121円 ・歯科医 613,130円 ・薬剤師 168,000円

■修繕関係

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	1,237,255
八 千 種 幼 児 園	328,625
福 崎 幼 児 園	652,305
高 岡 幼 児 園	390,775
合 計	2,608,960

■委託料関係

区 分	金 額 (円)
遊 具 点 検 委 託 料	297,000
清 掃 委 託 料	313,808
植 木 剪 定 等 委 託 料	336,570
電 気 設 備 管 理 委 託 料	753,720
警 備 委 託 料	554,400
消 防 設 備 点 検 委 託 料	71,280
電 算 機 器 保 守 委 託 料	39,600
施 設 管 理 委 託 料	384,120
合 計	2,750,498

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理を行い、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

園内研修では、職員間で積極的な意見交換を行い、教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
入所・入園児童数	709	675	645	662	626	730

□課題・改善

低年齢児からの保育ニーズに対応するため、保育教諭の確保に努めます。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
119,308,000	117,013,964	8,874,780		9,623,798	98,515,386

事業名／認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら、年齢に応じた教育・保育を実施しました。

保護者の多様なニーズに対応するため、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり（幼稚園型）事業及び在宅児童の一時預かり（一般型）事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、教育・保育を提供しました。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の保育料を助成しました。

◆事業の成果

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
210	33	182	1	724	780	1,930

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	姫 学	サルビア	合 計
23	147	20	190

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
38	6	8	0	9	84	145

■保育材料代

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	1,547,506
八 千 種 幼 児 園	520,490
福 崎 幼 児 園	973,155
高 岡 幼 児 園	191,101
合 計	3,232,252

■給食材料代

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	2,844,457
八 千 種 幼 児 園	1,117,910
福 崎 幼 児 園	1,835,010
高 岡 幼 児 園	236,213
合 計	6,033,590

■保育用備品購入費

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	101,400
八 千 種 幼 児 園	210,960
福 崎 幼 児 園	772,200
高 岡 幼 児 園	37,730
合 計	1,122,290

■衛生資材等購入費

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	489,088
八 千 種 幼 児 園	355,742
福 崎 幼 児 園	355,742
高 岡 幼 児 園	311,292
合 計	1,511,864

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 24人

保育料軽減事業補助金 2,323,000円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

利用者負担額の一部を助成することで、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりに寄与しました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	H30	R1	R2	R3	R4
延長保育事業（延べ人数）	2,504	1,832	1,008	1,328	1,930
一時預かり事業【一般型】（延べ人数）	216	77	170	147	190
一時預かり事業【幼稚園型】（延べ人数）	1,255	895	338	90	145

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、保護者にとって利用しやすい環境づくりに努めます。

■認定こども園年間延べ利用児童数

(単位：人)

施 設 名		定員	利用延べ児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
田 原 幼 児 園		240	2,364 (45)	57 (0)	468 (24)	504 (0)	1,335 (21)
八 千 種 幼 児 園		87	833 (1)	28 (0)	191 (0)	214 (1)	400 (0)
福 崎 幼 児 園		183	1,468 (47)	46 (0)	264 (12)	360 (11)	798 (24)
高 岡 幼 児 園		45	180 (0)	12 (0)	24 (0)	24 (0)	120 (0)
姫 学 こ ど も 園		75	830 (73)	45 (0)	237 (24)	202 (1)	346 (48)
サルビアこども園		105	1,277 (153)	62 (7)	311 (58)	328 (24)	576 (64)
小 計		735	6,952 (319)	250 (7)	1,495 (118)	1,632 (37)	3,575 (157)
姫 路 市	萩 学 園	305	93	0	33	12	48
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	193	48	0	12	24	12
	三 恵 城 山 こ ど も 園	115	12	0	12	0	0
	山 田 こ ど も 園	70	12	0	0	0	12
	中 寺 こ ど も 園	150	12	0	0	12	0
	津田このみ学園三宅分園	160	10	5	5	0	0
	青 葉 台 こ ど も 園	60	1	0	1	0	0
加 西 市	認定こども園とみた	140	12	0	12	0	0
	北条ならの実こども園	170	12	0	0	6	6
市 川 町	屋 形 こ ど も 園	80	12	12	0	0	0
	いちかわ西こども園	90	50	0	26	12	12
	いちかわ東こども園	170	101	0	33	24	44
多 可 町	あ さ か こ ど も 園	105	12	0	0	0	12
高 砂 市	さいしゅうじこども園	225	2	0	0	2	0
加 東 市	泉こども園	90	8	0	0	0	8
宍 粟 市	戸 原 こ ど も 園	87	7	0	0	0	7
小 計			404	17	134	92	161
合 計			7,356 (319)	267 (7)	1,629 (118)	1,724 (37)	3,736 (157)

※ () 内は他市町からの受託児で外数

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
21,823,000	21,511,087	3,150,500		5,289,318	13,071,269

事業名／園児送迎バス運行事業**◆事業内容(目的・必要性)**

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る報酬、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

■マイクロバス利用者数 (単位：人)

田 原 幼 児 園	1
八 千 種 幼 児 園	1
福 崎 幼 児 園	3
高 岡 幼 児 園	1
姫 学 こ ど も 園	1
サルビアこども園	2
合 計	9

□効果・達成度

ニーズのある家庭に対し、よりきめ細やかに対応し、園児の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつの運行で町内6園を効率的に巡回し、園児の送迎を行っています。今後も園児の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,810,000	4,500,150			203,020	4,297,130

事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業**◆事業内容(目的・必要性)**

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

◆事業の成果**■町内私立認定こども園給付費 (単位：円)**

	給 付 費
姫 学 こ ど も 園	88,738,640
サルビアこども園	109,627,880
合 計	198,366,520

■町内私立認定こども園補助金

(単位：円)

	姫学こども園	サルビアこども園
調理員補助	4,186,479	0
パン代補助	32,142	51,727
特別保育等補助金	3,784,605	5,767,911
特別保育料	367,000	185,500
障害児保育補助	736,000	1,472,000
保育体制強化事業補助金	0	1,703,460
感染症対策事業補助金	1,350,000	1,350,000
保育施設等への一時金援助事業補助金	270,000	378,000
保育士等処遇改善事業補助金	1,786,320	2,083,380
合 計	12,512,546	12,991,978

■町外私立認定こども園給付費

(単位：円)

	給 付 費
萩学園	4,694,180
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	3,182,840
三恵城山こども園	908,420
津田このみ学園三宅分園	2,004,370
青葉台こども園	129,240
認定こども園とみた	1,057,120
屋形こども園	2,019,070
あさかこども園	789,750
さいしゅうじこども園	87,750
泉こども園	590,800
合 計	15,463,540

■町外公立認定こども園給付費

(単位：円)

	給 付 費
山田こども園	965,670
中寺こども園	637,340
北条ならの実こども園	523,260
いちかわ西こども園	3,045,860
いちかわ東こども園	4,290,790
戸原こども園	271,740
合 計	9,734,660

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
249,870,000	249,069,244	181,024,070		552,500	67,492,674

1 次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	5. 子育て支援施設費	20,532,000 円	20,119,316 円	412,684 円

核家族化や少子化の進行、地域のつながりの希薄化等により、家庭や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限や消毒・換気等を徹底しながら、事業を行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
子育て支援事業参加者数	18,975	16,673	8,918	8,889	7,928	21,000

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報誌、ホームページ等による情報提供を実施しました。保健センターとの連絡を密に行い、産前から施設を利用してもらうよう呼びかけを行いました。また“おひさまらんど”は、子育て中の親子が集える場として開放し、子育ての孤立化や負担感の軽減を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど	すきっぷひろば	その他の事業	合 計
2,340人	325人	209人	2,874人

■子育て相談件数 407件

■地域支援活動（すきっぷひろば）

新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限をしながら実施しました。

実施月	実 施 場 所
5月～7月	図書館（3回）、文化センター（3回）、八千種研修センター（3回）
10月～12月	図書館（3回）、文化センター（3回）、八千種研修センター（3回）

■その他の事業

実施月	事業内容
5月	個別相談日
6月	子育ての話
9月	音楽であそぼう、個別相談日
11月	個別相談日
12月	離乳食の話
1月	むかしあそび
2月	個別相談日
3月	コンサート

□効果・達成度

保健センターとの連絡を密にし、4か月健診時に事業の周知を行うことで新たな来所者が増え、子育て中の親子の交流が広がりました。

専門の相談員による個別相談日を年4回設定し、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有することができました。

□課題・改善

今後も、子育て支援施設の拠点として関係機関と連携をとりながら、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる環境づくりに努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,172,000	5,058,531	2,974,400			2,084,131

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供しました。

「子育て講座」では、乳幼児期の子育てについての講演会等を開催しました。また、子育てグループ活動では、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、さまざまな交流の場を提供しました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば	子育てグループ活動	子育て講座	その他の事業	合計
1,843人	817人	152人	224人	3,036人

■子育て相談件数 28件

■子育てグループ

- ・3グループ39組82人の親子が参加
- ・グループごとに年間15回活動を実施

■子育て講座

実施月	テーマ
7月	人形劇
9月	はのおはなし
11月	いざ！という時の救急法と車両見学

■あそびのひろば

事業名	内 容	実 施 日
ドレミ	リズムあそび・うたあそび	木曜日 年10回
ぐりとぐら	絵本の読み聞かせ、わらべうた	木曜日 年8回

□効果・達成度

39組の子育て中の親子が年間15回の活動に参加され、出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も、子育て中の親子が集い、育ちあうなかまづくりの育成支援を行うとともに、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,830,000	3,707,675	2,231,600			1,476,075

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供し、親子遊びや製作遊びなどの事業を定期的 to 実施しました。また、家族で参加する機会を増やし、父親の積極的な子育て参加を促しました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば	製作あそび	そ の 他 の 事 業	合 計
1,376人	199人	443人	2,018人

■子育て相談件数 93件

■製作あそび

事業名	内 容	実 施 日
作って遊ぼう	親子での製作活動	第3木曜日 年10回

■その他の事業

実施月	テ ー マ
4月	みんなでおさんぽ（辻川山）
5月	子育て講座 音あそび
6月	おもちゃ作り（タンブリン）
7月	ちょきちょきぺったん！（手形アートのうちわ製作）
8月	家族で楽しむ川遊び
9月	ベビーマッサージ・3B体操、手作り教室（フォトフレーム）
10月	いもほり
11月	公園で遊ぼう、秋を飾ろう（木の実の製作）
12月	ちょきちょきぺったん！（クリスマスの製作）
1月	親子体育あそび
2月	成長の記録ノート作り

□効果・達成度

各月の実施事業に多くの子育て親子の参加があり、知識や情報の提供ができました。家族参加の事業では、母親だけでなく、父親や祖父母の参加もありました。

□課題・改善

今後も、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。また、家族とのふれあいを大切にし、父親の子育て参加を促していくとともに、「子どもの育ち」を支援していきます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,500,000	2,427,551	1,338,000			1,089,551

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	6. 学 童 保 育 費	27,979,000 ^円	26,978,360 ^円	1,000,640 ^円

共働き家庭など、学校から帰宅しても誰もいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、「福崎西部学童保育園」と「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。放課後子ども教室では、地域の大人との交流を通じ、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総 創 ◆ 取 組 内 容	学童保育や放課後子ども教室の更なる充実	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプランK P I	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R6)
学童保育利用者数	327	292	222	275	283	350

事業名／福崎西部学童保育園運営事業**◆事業内容(目的・必要性)**

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。また、動作不良となっていた空調の更新を行い、快適な環境づくりに努めました。

放課後児童支援員認定資格研修等への参加により指導員の資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4 月	59(68)	71(70)
5 月	54	66
6 月	55	61
7 月	55(71)	61(89)
8 月	(44)	(65)
9 月	49	58
10 月	46	55
11 月	44	54
12 月	43(32)	50(37)
1 月	41(30)	52(30)
2 月	43	48
3 月	40(40)	48(47)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

引き続き、安全で快適な保育環境を整えとともに、指導員の人材確保と研修等による資質向上に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13,448,000	13,185,467	2,780,787		4,118,000	6,286,680

事業名／福崎東部学童保育園運営事業**◆事業内容(目的・必要性)**

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校体育館の北側にある福崎東部学童保育園

において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

園庭の環境改善のため、老朽化していた遊具の撤去及び樹木の剪定等を行いました。また、動作不良となっていた空調の更新を行い、快適な環境づくりに努めました。

放課後児童支援員認定資格研修等への参加により指導員の資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4月	72(60)	81(69)
5月	66	76
6月	66	77
7月	67(72)	74(87)
8月	(50)	(68)
9月	54	68
10月	55	69
11月	54	64
12月	53(37)	62(39)
1月	47(41)	54(41)
2月	48	57
3月	49(46)	53(51)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

引き続き、安全で快適な保育環境を整えるとともに、指導員の人材確保と研修等による資質向上に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,097,000	13,436,288	3,874,233		4,997,500	4,564,555

事業名／田原放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校の1年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く。）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をし、地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

4月	—
5月	29
6月	30
7月	28
8月	—
9月	25
10月	29
11月	29
12月	29
1月	26
2月	29
3月	28
計	282

□効果・達成度

指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場を持つことができました。

□課題・改善

限られた時間の中で、宿題をしたり、絵本や折り紙を楽しんだりしながら、児童に寄りそった支援に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
219,000	164,278	90,800			73,478

事業名／八千種放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

八千種小学校の1年生を対象に、八千種小学校の教室において5月～3月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や折り紙などの活動을しながら、他の学年の児童の下校時刻と合わせることで、帰宅時の安全を確保するとともに地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

4月	—
5月	15
6月	15
7月	15
8月	—
9月	15
10月	15
11月	15
12月	15
1月	15
2月	15
3月	15
計	150

□効果・達成度

他学年の児童の下校時刻に合わせて帰宅することで、低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

限られた時間の中で、宿題をしたり、絵本や折り紙を楽しんだりしながら、児童に寄りそった支援に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
215,000	192,327	106,200			86,127

9. 教 育 費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「「志」の芽を育てる 福崎の教育 ～子どもの 心に「灯」をともし 学校教育、町民みんなの学びたいことが学べる 社会教育」を基調に、町民みんなが学ぶ福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルール^{かんよう}の大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、感染防止を徹底しながら各種事業を展開しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	安全で安心して学べる環境づくり
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	不登校指導員などによる指導体制を維持・発展 学力向上への取り組み	いじめなどの問題への早急かつ適切な対応
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	障がいへの理解に対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

1次評価：A

(1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	1,286,000 円	1,118,140 円	167,860 円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費で、主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名／教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、教育行政の基本方針や重要事項を審議し、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応しました。きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、教育上の諸問題について協議しました。

教育委員会の会議は、定例会12回、臨時会1回を開催しました。

協議内容及び件数は、次のとおりです。

- ・ 条例、規則等の制定、改廃に関すること 14件
- ・ 教育関係予算に関すること 1件
- ・ その他協議事項について 8件
- ・ その他報告・連絡事項について 86件

また、町長部局と連携を図り民意を反映させた教育行政を推進するための総合教育会議への出席、民生主任児童委員との意見交換会を実施するとともに、コロナ禍で中止していた学校訪問や学校行事の視察を再開し、各種研修会へ参加しました。

◆事業の成果

不登校の現状とその対応、生徒指導・生徒理解に対する取組等、教育諸課題並びに情勢をより早く察知

し検討するとともに、個々の教育委員が情報収集に努め、協議検討を重ねました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,286,000	1,118,140				1,118,140

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
1. 教 育 総 務 費	2. 事 務 局 費	84,143,000 ^円	83,549,851 ^円	593,149 ^円

教育長、職員4人、会計年度任用職員に係る人件費、心を開く親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備	
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	安全で安心して学べる環境づくり	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実	
総 ◆ 取 組 内 容	不登校指導員などによる指導体制を維持・発展 学力向上への取り組み	いじめなどの問題への早急かつ適切な対応	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実	
総 ◆ 取 組 内 容	障がいへの理解に対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置	

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期に対応するとともに、ICT支援員を配置し、学校でのICT活用を支援しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。学力向上委員会では、学力向上に取り組みました。

学齢簿の編製業務等に係る基幹系業務システムクラウド利用料として、4,453,680円を支払いました。

■福崎西中学校における損害賠償請求事件

平成30年3月26日に提起された訴訟は、令和3年12月13日に原告らの請求をいずれも棄却するとの一審判決、令和4年6月29日に原告らの控訴をいずれも棄却するとの二審判決、令和5年3月8日に原告らの上告を棄却するとの最高裁判所の上告棄却決定が出たことで、全面勝訴（全部棄却）が確定しました。弁護士費用等は、令和5年度に支払う予定です。

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応並びに特別支援学級への適正な入級判定ができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12,831,000	12,552,777				12,552,777

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
胃部レントゲン	1	3,740	1	3,740	6	22,440	0	0	3	11,220	5	18,700	59,840
心 電 図	15	19,800	9	11,880	29	38,280	3	3,960	16	21,120	17	22,440	117,480
血 液	15	37,125	9	22,275	29	71,775	3	7,425	16	39,600	17	42,075	220,275
H b A 1 c	15	6,600	9	3,960	29	12,760	3	1,320	16	7,040	17	7,480	39,160
胸部撮影	15	21,450	9	12,870	27	38,610	3	4,290	15	21,450	17	24,310	122,980
眼 底	17	20,570	10	12,100	30	36,300	5	6,050	16	19,360	17	20,570	114,950
尿 検 査	14	1,540	9	990	29	3,190	3	330	16	1,760	17	1,870	9,680
診 察	15	9,900	9	5,940	29	19,140	3	1,980	16	10,560	17	11,220	58,740
聴 力	15	1,650	9	990	29	3,190	3	330	16	1,760	17	1,870	9,790
大腸がん	13	13,585	8	8,360	23	24,035	3	3,135	13	13,585	13	13,585	76,285
P S A	2	3,520	0	0	2	3,520	1	1,760	3	5,280	1	1,760	15,840
腹 囲	5	1,375	3	825	11	3,025	1	275	6	1,650	6	1,650	8,800
協会健保一般健診	2	8,680	1	3,819	1	3,819	2	9,722	0	0	0	0	26,040
追加血液検査	2	1,540	1	770	1	770	2	1,540	0	0	0	0	4,620
計		151,075		88,519		280,854		42,117		154,385		167,530	884,480

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
心臓検査	64	136,320	10	21,300	79	168,270	15	31,950	71	151,230	106	225,780	734,850
尿 検 査	407	40,293	45	4,455	471	46,629	125	12,375	244	24,156	284	28,116	156,024
計		176,613		25,755		214,899		44,325		175,386		253,896	890,874

■ストレスチェック委託料 15,147円

労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、公立学校共済組合員149人、公立学校共済組合員以外の者3人がストレスチェック（オンライン診断）を受けました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,067,000	1,978,474				1,978,474

事業名／学校関係事業

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位：円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	兵庫リレーカーニバル	29,662	61,386
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	13,662	
	兵庫県小学生陸上競技大会	18,062	
高岡小	兵庫リレーカーニバル	3,313	3,313
田原小	兵庫リレーカーニバル	7,462	46,166
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	17,752	
	兵庫県小学生陸上競技大会	20,952	
八千種小	兵庫リレーカーニバル	6,262	21,186
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	6,062	
	兵庫県小学生陸上競技大会	8,862	
福崎西中	兵庫リレーカーニバル	50,520	2,262,906
	中播地区中学校総合体育大会	630,220	
	兵庫県中学校総合体育大会	68,010	
	近畿地区中学校総合体育大会	8,100	
	全日本中学校陸上競技選手権大会	126,004	
	神崎郡中学校親善大会	158,400	
	中播地区中学校新人大会	452,100	
	兵庫県中学校新人大会	41,200	
	中播地区中学校駅伝大会	44,000	
	兵庫県中学校駅伝大会	120,160	
	兵庫県中学生陸上競技記録会	82,900	
	NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会	74,559	
	兵庫県合唱コンクール	109,040	
	関西合唱コンクール	297,693	
福崎東中	中播地区中学校総合体育大会	786,197	1,895,379
	兵庫県中学校総合体育大会	357,800	
	近畿地区中学校総合体育大会	28,891	
	神崎郡中学校親善大会	42,180	
	中播地区中学校新人大会	522,241	
	兵庫県中学校新人大会	158,070	
計			4,290,336

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,890,000	5,759,431			697,360	5,062,071

事業名／国際教育推進事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》		施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化		①国際理解の推進
総 ◆ 取 組 内 容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)		未来の国際化を担う人材の育成
I 地域づくり・行政	3 国際化		②国際交流の推進
総 ◆ 取 組 内 容	国際交流に関する情報の提供		「日本語サロン」など交流の機会づくり、支援・拡充

◆事業内容(目的・必要性)

小中学校において、英語担当教員が行う授業の補助や言語活動における児童生徒に対する指導の補助として、外国語指導助手(ALT)を任用し、外国語国際理解教育を展開しました。

◆事業の成果

ALTを2人配置し、小中学校の英語教育・国際教育を充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。

□課題・改善

ALT等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,276,000	9,221,003				9,221,003

1次評価：A

(2) 小学校費

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不 用 額
2. 小 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	578,443,000 ^円	258,119,609 ^円	310,500,000 ^円	9,823,391 ^円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。学校生活はコロナウイルス感染症の影響が続きましたが、手指消毒やマスクの着用など感染予防を徹底しながら学校活動を継続しました。

事業名／小学校管理事業【令和3年度からの繰越を含む】、小学校校外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取組内容	教育環境の向上（情報機器の更新・拡充）	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆ 取組内容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための小学校教育を推進しました。

各学校が新型コロナウイルス感染症対策等を徹底しながら、児童の学習保障への取り組みを実施するために必要な保健衛生資材、一般備品等を購入しました。

また、学校における換気対策に係る備品購入費等を繰越明許費として令和5年度に繰り越しました。

◆事業の成果

心身の発達に応じて小学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症対策では、国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、感染症対策のための衛生資材等の購入、学習保障等を行いました。

■学校別児童・教員数調べ

R 4. 5. 1 現在（単位：人）

学校	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	教員	事務職・栄養教諭等
福 崎 小		64	63	74	64	60	88	413	25	2
高 岡 小		10	3	7	7	7	11	45	8	3
田 原 小		79	78	77	77	82	79	472	27	4
八 千 種 小		15	18	24	23	20	25	125	10	2
計		168	162	182	171	169	203	1,055	70	11
令和3年度		160	181	170	172	204	187	1,074	73	11

■小学校別児童数の推移

R 4. 5. 1 現在（単位：人）

学 校 名	H30	R1	R2	R3	R4
福崎小学校	423	434	420	409	413
高岡小学校	66	57	49	47	45
田原小学校	483	487	482	481	472
八千種小学校	137	131	139	137	125
計	1,109	1,109	1,090	1,074	1,055

■校医等の報酬

内 科 医（5人）	2,087,045円	定期健康診断、就学前健康診断他
歯 科 医（4人）	1,382,360円	
眼 科 医（1人）	705,100円	
耳鼻科医（1人）	700,150円	
薬 剤 師（3人）	340,900円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査他

■施設修繕料等

（単位：円）

福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
576,318	198,259	464,259	249,855	1,488,691

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
空調設備定期点検委託料		66,000	—	71,500	—	137,500
筆 耕 委 託 料		30,976	3,872	23,700	8,800	67,348
立 木 伐 採 委 託 料		289,300	0	497,200	0	786,500
植 木 剪 定 等 委 託 料		106,050	119,390	218,900	129,065	573,405
清 掃 委 託 料		0	0	120,000	120,000	240,000
警 備 委 託 料		277,200	277,200	277,200	277,200	1,108,800
電気設備管理委託料		204,600	118,800	237,600	188,760	749,760
貯 水 槽 管 理 委 託 料		55,000	75,900	96,800	77,000	304,700
給食用昇降機点検委託料		60,500	66,000	66,000	66,000	258,500
消防設備点検委託料		35,090	35,090	35,090	35,090	140,360
プール循環装置点検委託料		33,000	33,000	33,000	33,000	132,000
特定建築物定期報告委託料		55,000	55,000	55,000	55,000	220,000
エレベーター点検委託料		580,800	—	—	—	580,800
電算機器保守管理委託料		66,550	66,550	66,550	66,550	266,200
リソグラフ保守管理委託料		87,252	46,200	87,120	36,300	256,872
小学校体験活動事業委託料		1,166,668	614,334	1,321,409	655,704	3,758,115
ドメイン管理委託料		1,100	1,100	1,100	1,100	4,400
計		3,115,086	1,512,436	3,208,169	1,749,569	9,585,260

※ 空調設備定期点検は、高岡電工㈱に委託し、正常に動作していることを確認しました。

※ 特定建築物定期報告は、前川設計工房一級建築士事務所に委託し、調査による指摘の概要は、いずれの小学校も主に経年劣化によるものでした。

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、さまざまな体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業です。令和4年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校5年生169人が2班に分かれ、4泊5日（前半：6/13～6/17、後半：7/11～7/15）の日程で行い、自然観察、昼食作り、制作活動等充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料	3,461,040円
ソフトウェアライセンス等使用料	5,423,000円
福崎小学校敷地借上料（638.28坪）	1,320,610円
小学校コンピュータ等借上料	20,211,564円

■備品購入関係

一般備品、教材備品等を購入し、各校の教育環境の充実を図りました。また、理科教育設備整備費等補助金を活用して、八千種小学校の理科備品を整備しました。

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一般備品		241,120	284,229	737,594	283,250	—	1,546,193
教材備品		685,828	313,933	547,305	332,346	259,630	2,139,042
図書購入費		208,956	149,853	86,427	134,035	—	579,271
計		1,135,904	748,015	1,371,326	749,631	259,630	4,264,506

■負担金関係 体験農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円

〃 （田植え） 1人150円 （稲刈り） 1人300円

〃 （もち麦種まき・もち麦刈取り） 1人250円

学校名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料 (円)
福崎小	63	137	60	60	62	74	91,000
高岡小	27	27	—	18	—	—	13,500
田原小	78	78	82	82	77	—	79,550
八千種小	18	18	20	20	—	—	14,400
計	186	260	162	180	139	74	198,450

■授業目的公衆送信補償金

ICTを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として135,564円を支出しました。

■新型コロナウイルス感染症対策

- ・事務消耗器材費の購入（水泳用マスク、非接触体温計等）
- ・保健衛生資材の購入（手指消毒剤、手袋、経口補水液等）
- ・備品購入（エアコン設置、アルコールスタンド等）

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

新型コロナウイルス感染症対策では、小学校の感染症拡大防止対策の徹底と感染症拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校教育活動を円滑に継続することができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

また、令和5年度も引き続き、徹底した感染症対策を実施し、安全安心な学校生活が送れるよう対応します。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
137,621,000	130,032,608	8,638,000		88,000	121,306,608

事業名／小学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕を行いました。また、田原小学校の普通教室等の不足を解消するため緊急に図書室を改修して対応しました。

■修繕関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	体育館LED照明取替	561,000	2,513,170
	雲梯付き登り棒修繕	632,500	
	体育館舞台緞帳裏地取替	649,000	
	エレベータ部品交換	249,370	
	玄関フロアヒンジ修繕	103,400	
	運動場不陸調整	284,900	
	アクセスポイント修理	33,000	
高岡小	外部タイル補修	176,660	487,960
	揚水ポンプパッキン修理	132,000	
	漏水修理	179,300	
田原小	アクセスポイント移設	56,430	584,430
	受水槽給水バルブ取替	264,000	
	外壁露筋修繕	264,000	
八千種小	プールろ過器レバー取替	1,201,200	1,437,700
	プールバルブ交換	236,500	
合 計			5,023,260

■業務委託料 高岡小学校ガス漏れ調査委託 155,100円

■工事請負費 (単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
高岡小	ガス仮設供給設備工事	97,900	450,450
	LPGガス設備工事	352,550	
田原小	普通教室増設に係る空調・電気設備工事	1,122,000	3,390,200
	〃 改修工事	871,200	
	職員室空調設備更新工事	946,000	
	運動場南側のり面補修工事	451,000	
八千種小	固定遊具設置工事	1,166,000	1,376,100
	擁壁上部復旧工事	210,100	
合 計			5,216,750

■備品関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	消防器具庫	41,800	131,670
	消火器更新等	89,870	
高岡小	保健室エアコン取替	512,600	523,820
	消火器更新	11,220	
田原小	普通教室増設に係るランドセル入れ、黒板	501,600	1,717,210
	〃 アルミ製間仕切り	1,210,000	
	消火器更新	5,610	
八千種小	保健室エアコン取替	675,400	748,330
	消火器更新	72,930	
合 計			3,121,030

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

今後も老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13,519,000	13,516,140	1,000,000			12,516,140

事業名／小学校施設長寿命化改良事業【令和3年度からの繰越を含む】

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、田原小学校のトイレ改修工事を実施しました。改修工事を行うことで、経年劣化による損耗や低下した機能の回復、耐用性、快適性等を確保することができました。

令和5年度に実施する福崎小学校、高岡小学校及び八千種小学校のトイレ改修工事の実施設計を行うとともに、工事費及び工事監理委託料を繰越明許費として令和5年度に繰り越しました。

◆事業の成果

■業務委託料

(単位：円)

業 務 名	箇 所	内 容	金 額	受 託 者
小中学校トイレ改修工事監理業務委託	田原小学校	トイレ改修工事に係る工事監理	1,265,000	(株)環境設計
小学校トイレ改修工事实施設計業務委託	福崎小学校、高岡小学校、八千種小学校	3校のトイレ改修に係る実施設計	4,895,000	(株)環境設計
田原小学校長寿命化改修工事検討計画業務委託	田原小学校	長寿命化改修工事に向けた検討計画	836,000	ゴトー・ラボ
計			6,996,000	

■工事請負費

(単位：円)

工 事 名	箇 所	内 容	金 額	請 負 者
田原小学校トイレ改修工事	田原小学校	改修面積 162 m ²	96,620,700	(株)神名工務店

□効果・達成度

田原小学校トイレ改修工事は、工事を円滑に進めるために、学校・工事関係者との協議を頻繁に実施し、学校生活に支障をきたすことなく工期内に終わることができました。

残る小学校3校のトイレ改修工事に係る実施設計を行い、令和5年度に工事を発注する準備ができました。

また、田原小学校の長寿命化改修工事に向けた検討計画を策定することができました。

□課題・改善

残る3校のトイレ改修工事についても、学校生活に支障をきたさないよう、安全には十分に配慮して夏休みを中心に施工します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
416,233,000	103,616,700	19,275,000	78,500,000		5,841,700

事業名／遠野市友好交流事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実	
総 ◆ 取 組 内 容	特別支援教育の充実		

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年度から友好都市提携の教育分野事業として「岩手県遠野市と福崎町の児童交流」を実施しています。令和4年度は3年ぶりに第3回目の児童交流を実施しました。

◆事業の成果

8月28日から30日まで、福崎町内小学校6年生15人と引率者5人で民俗学の父・柳田國男の著書『遠野物語』の舞台となった遠野市を訪れ、遠野市の人々の知恵や工夫・努力を体感し、異なる地域の文化や暮らしぶりに触れました。児童たちは、遠野市の施設、名所を巡り、防災をはじめとする市の取組を深く理解し感動を得ました。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,646,000	1,533,976			300,000	1,233,976

事業名／GIGAスクール事業

◆事業内容(目的・必要性)

GIGAスクール構想を推進するため国の「公立学校情報機器整備費補助金」を活用して、小学校に端末、ICTを活用した授業環境の高度化を図るための教材備品の整備に要する経費です。

◆事業の成果

■備品購入費

(単位：円)

品 目 名	内 容	金 額	納入者
端 末	Chromebook18 台 (レボ®社製、11.6 インチ、タッチパ 祢可、360 度開閉式)	689,040	日本電通(株)神戸支店
マグネットスクリーン	黒板に貼り付けて、画像の色彩を確保するために導入 5 台	169,620	トップマンナガタ教材(株)
計		858,660	

□効果・達成度

1 人 1 台の端末を追加導入するとともに、教材備品を導入することができました。

□課題・改善

1 人 1 台端末の効果的な利活用を促進し、更なる環境整備に努める必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
860,000	858,660	382,000			476,660

1 次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 小 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	11,396,000 円	10,975,592 円	420,408 円

心身に障がい有する児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5 学級 (知的、自閉症・情緒①②、難聴、肢体)

高岡小 1 学級 (知的)

田原小 4 学級 (知的①②、自閉症・情緒①②)

八千種小 1 学級 (自閉症・情緒)

■学校別児童数調（特別支援学級）

R 4. 5. 1 現在（単位：人）

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
福 崎 小 学 校	4	2	5	3	1	10	25
高 岡 小 学 校	1	0	0	0	1	0	2
田 原 小 学 校	3	0	6	2	7	7	25
八 千 種 小 学 校	0	0	1	0	3	0	4
計	8	2	12	5	12	17	56

■備品購入費

（単位：円）

区分 \ 校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
一 般 備 品	136, 400	38, 241	136, 840	0	311, 481
教 材 備 品	205, 128	34, 452	152, 230	102, 311	494, 121
計	341, 528	72, 693	289, 070	102, 311	805, 602

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶 助 内 容	援助人数	金 額(円)
学 用 品	131	1, 658, 103
修 学 旅 行	34	505, 430
新 入 学 学 用 品	23	698, 325
給 食 費	130	5, 086, 748
P T A 会 費	89	200, 500
卒業アルバム代等費	22	193, 124
計		8, 342, 230

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11, 396, 000	10, 975, 592	568, 000			10, 407, 592

1 次評価：A

(3) 中学校費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	繰越明許費	不 用 額
3. 中 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	358, 857, 000 円	337, 334, 380 円	1, 800, 000 円	19, 722, 620 円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。学校生活は新型コロナウイルス感染症の影響が続きましたが、手指消毒やマスクの着用など感染予防を徹底しながら学校活動を継続しました。

事業名／中学校管理事業【令和3年度から繰越を含む】、中学校枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取組内容	教育環境の向上（情報機器の更新・拡充）	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆ 取組内容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための中学校教育を推進しました。

両中学校が新型コロナウイルス感染症対策等を徹底しながら、生徒の学習保障への取り組みを実施するために必要な保健衛生資材、一般備品等を購入しました。

また、学校における換気対策に係る備品購入費等を繰越明許費として令和5年度に繰り越しました。

◆事業の成果

小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症対策では、国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して感染症対策のための衛生資材等の購入、学習保障等を行いました。

■学校別生徒・教職員数調

R 4 . 5 . 1 現在（単位：人）

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計	教 員	事務職・栄養教諭等
福 崎 西 中 学 校	71	86	92	249	23	3
福 崎 東 中 学 校	106	88	91	285	26	2
計	177	174	183	534	49	5
令 和 3 年 度	174	181	171	526	48	5

■中学校別生徒数の推移

R 4 . 5 . 1 現在（単位：人）

学 校 名	H30	R1	R2	R3	R4
福 崎 西 中 学 校	234	216	222	242	249
福 崎 東 中 学 校	338	328	303	284	285
計	572	544	525	526	534

■校医等の報酬

内 科 医（2 人）	1, 070, 080円	定期健康診断他
歯 科 医（2 人）	636, 460円	
眼 科 医（1 人）	353, 500円	
耳鼻科医（1 人）	354, 850円	
薬 剤 師（2 人）	97, 400円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査他

■施設修繕料

（単位：円）

福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
766, 260	699, 050	1, 465, 310

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福 崎 西 中	福 崎 東 中	計
空 調 設 備 定 期 点 検 委 託 料		46,200	53,900	100,100
筆 耕 委 託 料		29,440	10,920	40,360
ド メ イ ン 管 理 委 託 料		1,100	1,100	2,200
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		600,000	600,000	1,200,000
清 掃 委 託 料		0	120,000	120,000
警 備 委 託 料		277,200	277,200	554,400
電 気 設 備 管 理 委 託 料		188,760	188,760	377,520
貯 水 槽 管 理 委 託 料		99,000	107,800	206,800
給 食 用 昇 降 機 点 検 委 託 料		33,000	33,000	66,000
消 防 設 備 点 検 委 託 料		50,050	72,050	122,100
プ ール 循 環 装 置 点 検 委 託 料		33,000	33,000	66,000
特 定 建 築 物 定 期 報 告 委 託 料		55,000	55,000	110,000
植 木 剪 定 等 委 託 料		186,895	250,000	436,895
エ レ ベ ー タ ー 点 検 委 託 料		448,800	—	448,800
電 算 機 器 保 守 管 理 委 託 料		67,100	67,100	134,200
リ ソ グ ラ フ 保 守 管 理 委 託 料		86,856	87,252	174,108
計		2,202,401	1,957,082	4,159,483

※ 空調設備定期点検は、高岡電工㈱に委託し、正常に動作していることを確認しました。

※ 特定建築物定期報告は、前川設計工房一級建築士事務所に委託し、調査による指摘の概要は、いずれの中学校も主に経年劣化によるものでした。

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料 1,791,240円

ソフトウェアライセンス等使用料 2,706,000円

中学校コンピュータ等借上料 12,244,596円

■備品購入費関係

一般備品、教材備品等を購入し、各校の教育環境の充実を図りました。また、理科教育設備整備費等補助金を活用して、福崎西中学校の理科備品を整備しました。

(単位：円)

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事務局	計
一 般 備 品		618,420	678,872	—	1,297,292
教 材 備 品		593,005	589,330	270,000	1,452,335
図 書 購 入 費		298,430	300,000	—	598,430
計		1,509,855	1,568,202	270,000	3,348,057

■授業目的公衆送信補償金

I C Tを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として103,653円を支出しました。

■新型コロナウイルス感染症対策

- ・事務消耗器材費の購入（二酸化炭素測定器等）
- ・保健衛生資材の購入（手指消毒剤、手袋、経口補水液等）
- ・備品購入（ルームエアコン、プロジェクター等）

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

中学校の感染症拡大防止対策の徹底と感染症拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校教育活動を円滑に継続することができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

令和5年度も引き続き、徹底した感染症対策を実施し、安全安心な学校生活が送れるよう対応します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
73,832,000	71,178,716	4,209,000			66,969,716

事業名／中学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆取組内容	計画的な学校施設の長寿化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕等を行いました。

■施設補修関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	両校合計
福崎西中	体育館フロアネット修繕	605,000	1,998,700
	運動場南フェンス改修	324,500	
	エレベータ部品交換	264,000	
	屋上防水シート修繕	176,000	
	アクセスポイント修理	33,000	
	校庭足洗場給水管漏水修理	299,200	
	体育館多目的トイレ排水配管漏水修理	297,000	
福崎東中	プール給水設備修繕	297,000	2,794,605
	部室前ベンチ修繕	268,180	
	プール入口扉改修	143,055	
	体育館舞台スクリーン吊り下げバー修繕	228,800	
	屋上防水シート修繕	693,000	
	国旗揚柱ロープ修繕	210,430	
	漏電ブレーカー修繕	178,200	
	体育館舞台吊り下げバー他修繕	616,000	
	防排煙制御設備修繕	34,540	
	テニスコート支柱改修	107,800	
	屋内消火栓設備制御盤修理	17,600	
	計		4,793,305

■業務委託料

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	両校合計
福崎西中	プールろ過器入替 設計業務委託	121,000	121,000
福崎東中	駐輪場屋根洗浄 清掃委託	55,000	105,000
	駐輪場屋根改修 設計業務委託	50,000	
計			226,000

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	合計
福崎東中	プールシャワー施設改修工事	3,124,000	4,994,000
	駐輪場屋根等改修工事	1,870,000	

■備品関係

福崎西中学校 消火器更新

19,800円

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

今後も老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,049,000	10,033,105				10,033,105

事業名／G I G Aスクール事業**◆事業内容(目的・必要性)**

G I G Aスクール構想を推進するため国の「公立学校情報機器整備費補助金」を活用して、中学校に端末、I C Tを活用した授業環境の高度化を図るための教材備品の整備に要する経費です。

◆事業の成果**■備品等購入費**

(単位：円)

品 目 名	内 容	金 額	納入者
端 末	Chromebook 2 台 (レノボ社製、11.6 インチ、タッチパネル可、360 度開閉式)	76,560	日本電通(株)神戸支店
プロジェクター	超短焦点、電子黒板機能付き 5 台の購入、設置調整等	1,567,500	(株)青井黒板製作所
マグネットスクリーン	黒板に貼り付けて、画像の色彩を確保するために導入 7 台	258,720	トップマンナガタ教材(株)
デバイス	HDMI キャプチャーデバイス 3 個	31,500	(株)ケント
計		1,934,280	

□効果・達成度

1 人 1 台の端末を追加導入するとともに、教材備品等を導入することができました。

□課題・改善

1 人 1 台端末の効果的な利活用を促進し、更なる環境整備に努める必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,940,000	1,934,280	945,000			989,280

事業名／中学校施設長寿命化改良事業【令和 3 年度からの繰越】**◆事業内容(目的・必要性)**

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、両中学校のトイレ改修工事を実施しました。改修工事を行うことで、経年劣化による損耗や低下した機能の回復、耐用性、快適性等を確保することができました。

◆事業の成果**■業務委託料**

(単位：円)

業 務 名	箇 所	内 容	金 額	受 託 者
小中学校トイレ改修工事監理業務委託	福崎西中学校、福崎東中学校	トイレ改修工事に係る監理業務	3,245,000	(株)環境設計

■工事請負費

(単位：円)

工 事 名	箇 所	内 容	金 額	請 負 者
福崎西中学校トイレ改修工事	福崎西中学校	改修面積 287 m ²	132,354,200	(株)ハマダ
福崎東中学校トイレ改修工事	福崎東中学校	改修面積 257 m ²	114,356,000	(株)ハマダ
計			246,710,200	

□効果・達成度

両中学校のトイレ改修工事は、学校生活に支障をきたすことなく工期内に終わることができました。

□課題・改善

今後も工事を施工する際には、学校・工事関係者との協議を頻繁に実施します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
268,800,000	249,955,200	64,727,000	186,300,000		1,071,800

1 次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
3. 中 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	9,082,000 ^円	8,923,827 ^円	158,173 ^円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業、中学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 2学級(知的、自閉症・情緒)

東中 4学級(知的、自閉症・情緒、難聴、肢体)

■学校別生徒数調(特別支援学級)

R 4. 5. 1 現在(単位：人)

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計
福 崎 西 中 学 校	2	4	3	9
福 崎 東 中 学 校	5	3	4	12
計	7	7	7	21

■備品購入費

(単位：円)

区分	校名	福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
一 般 備 品		131,560	287,500	419,060
教 材 備 品		0	72,105	72,105
計		131,560	359,605	491,165

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。また、検定料に係る負担軽減のため、英語・漢字検定料援助を創設しました。

扶 助 内 容	援助人数	金 額(円)
学 用 品	64	1,371,325
修 学 旅 行	18	827,519
新 入 学 学 用 品	34	1,799,950
給 食 費	63	2,724,129
ク ラ ブ 活 動 費	23	468,744
生 徒 会 費	48	33,933
P T A 会 費	44	143,300
卒業アルバム代等費	12	103,399
英語・漢字検定料費	13	52,750
計		7,525,049

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な生徒の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,082,000	8,923,827	451,000			8,472,827

1 次評価：B

(4) 社会教育費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	1. 社会教育総務費	50,614,000 ^円	49,565,952 ^円	1,048,048 ^円

生涯学習の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費で、主な支出として、職員 5 人及び会計年度任用職員 2 人の人件費、消耗品費、保険料、電算機器借上料、各種団体負担金等に要した経費です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 ◆ 取 組 内 容	多彩な学習機会を提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	①生涯学習施設の整備・充実
総 ◆ 取 組 内 容	バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総 ◆ 取 組 内 容	積極的な情報の提供	幅広い世代への利用促進
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	地域社会で生かせるリーダーの養成
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	地域の文化振興

事業名／社会教育総務一般事務費

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員会の開催などを行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら二十歳のつどいや吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

- ・社会教育委員会（年３回 ７/20、１/19、３/29）

社会教育事業の説明や進捗状況の報告、施設の視察等で意見をいただき、今後の事業推進の参考とすることができました。

- ・中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会（11/9）

アクリエ姫路での合同研修会に参加し、講演を拝聴し社会教育委員の教育力の向上を図りました。

■二十歳のつどい １月９日（月・祝） 該当者212人中136人の参加

民法の改正により、令和４年４月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、これまで通りその年度内に20歳になる方を対象に、「成人式」を「二十歳のつどい」と名称を改め、開催しました。二十歳のつどい代表10人による実行委員会を組織し、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを実行委員が積極的に進めました。式典会場は福岡町文化センターを使用し、開催時間の短縮に努めるなど、感染症拡大防止対策を講じながら実施しました。

- ・第１部 記念式典
- ・第２部 アトラクション（お楽しみ抽選会）

■第15回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して賞を贈りました。

- ・小学校低学年の部
中塚 鉄心（八千種小学校４年生） 作品名「かん気の実験」
- ・小学校高学年の部
上阪 優（田原小学校５年生） 作品名「吉識雅夫HISTORY 浮力と船の動力について」
- ・中学校の部
鳴海 みう（福岡東中学校１年生） 作品名「浮き沈みと糖度と味覚」
- ・特別賞

桐月 悠磨、岡本 瑞生、浅井 陸人（福崎東中学校2年生）

兵庫県数学・理科甲子園ジュニア2022で優勝。第10回科学の甲子園ジュニア全国大会出場。

□効果・達成度

感染症拡大防止対策を講じながら、社会教育委員会、二十歳のつどいや吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。二十歳のつどいは大人の仲間入りを果たしたという厳粛な雰囲気の中で開催できました。式典会場に入場できなかった家族に対し、後日、式典の模様を動画サイトで視聴いただく対応を行いました。吉識雅夫科学賞では、各小中学校から合計53作品の提出がありました。作品は、地域住民へのさらなる周知を図るため、図書館において、吉識雅夫の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

今後、社会教育委員と共に地域のニーズを把握し、社会教育の推進を図ります。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,813,000	2,382,438				2,382,438

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	地域ヘルパー、スクールヘルパーとの連携	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各3～5人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1自治会で1～3か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（136人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（51人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（141人）	休 止	週 3 回
八千種小学校（70人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

- ・土曜英語教室 小学3・4・5・6年生対象

令和4年6月から令和5年3月までの土曜日 各校区月1回

会場：高岡県民交流広場、文化センター、サルビア会館、八千種県民交流広場

- ・サマースクール 小学4・5・6年生対象

令和4年7月27日（水）～29日（金）、8月2日（火）～3日（水） 文化センター

令和4年7月28日(木)～29日(金)、8月1日(月)～3日(水) 高岡県民交流広場

令和4年8月1日(月)～5日(金) サルビア会館

令和4年7月25日(月)～29日(金) 八千種県民交流広場

・ウィンタースクール 中学3年生対象

令和4年11月5日(土)～令和5年3月4日(土)の土曜日

会場：文化センター、サルビア会館(会場交互で実施)

□効果・達成度

地域ボランティアの支援を受けて、子どもたちの安全確保に努め、その中で子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また、学校の休業日・土曜日に地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
地域スクールヘルパー登録者数	395	354	371	359	398	470

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また、学習申込者に継続して参加していただけるように、内容を工夫していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,080,000	892,349	483,000			409,349

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	青少年やその家族などへの相談支援
		積極的な非行防止・環境浄化活動	

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。人権・青少年健全育成研修会及び、人権・青少年健全育成フェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら実施しました。

◆事業の成果

■ 青少年問題協議会の開催(年2回 7/15、2/28)

青少年健全育成に関する取り組みや現状・課題についての報告を受け、今後の取り組みの参考となる情報共有を図りました。

■ 青少年健全育成啓発リーフレットの作成(各戸、町内店舗等に配布) 6,300枚

■ 青少年補導委員会活動状況

- ・定例会 11回
- ・街頭補導(下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回等)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
街頭補導回数	66回	75回	77回

□効果・達成度

啓発リーフレットの作成や街頭補導などの啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施し、子どもたちの健全な成長を支援していきます。子どもの犯罪被害やインターネットの正しい利用に関する情報などについて啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,886,000	2,775,235				2,775,235

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

小学校（4校）・中学校（2校）の保護者会会員・PTA会員を対象に、各保護者会・PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級開設事業（小中学校）

報償費 73,136円

委託料 215,666円

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の事業が計画通り実施とはいきませんでした。対策を施しながら学級開設を行い、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育て力向上を支援していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
480,000	288,802				288,802

事業名／各種団体育成事業

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町PTA、町文化協会への補助金です。

◆事業の成果

■負担金

・神崎郡美術協会負担金 23,000円

■補助金

・福崎町PTA協議会補助金 80,000円 ・福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を円滑に実施することができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、社会教育活動の活性化に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
503,000	503,000				503,000

事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)	

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成するための事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町ココロクラブ

年間9回(4月～11月、3月の毎月1回)役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の4か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行う予定でしたが、令和4年度も感染症拡大防止のため、実施できませんでした。

■ふくさき日本語ボランティアの会(ふくさき日本語サロン)

町内在住・在勤の外国人を対象に、日本語や生活習慣に関する学習を毎月2回、学習者のレベル別にグループ学習を行いました。

□効果・達成度

活動ができない団体もありましたが、“住みよいまちづくり”をめざして、ボランティア活動に熱心に取り組んでいただき、こころ豊かなまちづくり・人づくりや美しい景観・コミュニティづくりが推進できました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
日本語サロン受講者数（年間）	560	192	88	51	246	700
第2期総合戦略アクションプランK P I	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R6)
日本語サロン平均受講者数（1回当たり）	25	9	4	3	10	30

□課題・改善

ふくさき日本語サロンは、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた研修生が戻って来ているため、少しずつ受講者が増えてきています。十分な学習内容を提供できるよう、今後は支援者の増員に努めます。

また、ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広めて新規会員の加入促進に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
329,000	268,345				268,345

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	2. 公 民 館 費	7,108,000 ^円	6,516,298 ^円	591,702 ^円

町民が主体的に学習したり、芸術文化に触れるための講座や教室を開講し、生涯学習の場を提供することを目的としています。

事業名／公民館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり		①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進		
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財		①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施		幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財		③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供		学習成果発表の場の充実（公民館クラブなど）

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行うことを目的としています。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

(令和4年4月1日現在)

登 録 会 場 名	登録クラブ数 (クラブ)	町内会員数 (人)	町外会員数 (人)	活動人数 (人)
文化センター 会 場	25	244	59	303
八 千 種 研 修 センター会場	15	131	30	161
地 区 会 場	18	110	31	141
合 計	58	485	120	605

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、文化の高揚、研さんの場として施設を利用されました。

■文化功労賞

氏名	所属	分野	内容
庄 幹正	福崎町文化協会	地域文化活動	長年にわたり地域文化の普及発展に貢献し、福崎町の文化振興に大きく寄与されました。

■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
駒井葉風	町立田原小学校1年生	絵画	「第37回 WE LOVE トンボ 絵画コンクール」 朝日小学生新聞賞
井藤 環	町立田原小学校1年生	絵画	「第18回全国こども絵画選抜展2022」兵庫県知事賞
井藤千都	町立田原小学校5年生	絵画	「第18回全国こども絵画選抜展2022」審査員特別賞
滝本彩葉	町立福崎小学校5年生	読書感想画	「第33回読書感想画中央コンクール」優良賞
吉田 颯	町立田原小学校6年生	読書感想画	「第33回読書感想画中央コンクール」奨励賞
牛尾明日駈	町立福崎小学校6年生	作文	『2022年度小・中学生「いのち」の作文コンクール』優秀賞
石野聡輔	町立福崎東中学校3年生	ポスター	「令和4年全国地域安全運動に係る公募ポスター 幅広い世代が参加する防犯ボランティア活動部門」最優秀賞
川上心愛	町立福崎東中学校3年生	ポスター	「兵庫県暴力団追放モデルポスターコンクール」最優秀賞
福崎西中学校 合唱部	町立福崎西中学校	合唱	「第77回関西合唱コンクール中学校部門混声合唱の部」金賞

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症の影響で、文化活動や地域交流を思うように展開ができないこともありましたが、感染症拡大防止対策を取りながら、施設運営を行いました。

□課題・改善

公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,737,000	1,538,186				1,538,186

事業名／老人大学事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>		町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいつくりと社会参加の促進
総◆ 取 組 内 容	活動の場の確保を支援（高齢者の自主的組織）	

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的としています。

◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず学生を募集しました。

神崎学園と福寿学園の2学園制で運営しました。専門講座では、園芸（野菜・花き）、書道漢字、書道かな、手芸、舞踊、陶芸、史学及びIT（入門編・応用編）の全8コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回のさまざまなジャンルの講演等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移（※令和2年度は中止）

(単位：人)

	令和元年度	令和3年度	令和4年度
神崎学園	122	112	112
福寿学園	196	175	175
合 計	318	287	287

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、高齢者の学習の場と交流の機会を提供し、生きがいつくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会による自主的なクラブ活動等も活発に行われました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
老人大学受講者数	300	318	中止	287	287	360

□課題・改善

今後も継続して生きがいつくりの場の支援を行っていきます。また、受講生のニーズを参考に新たな専門講座の開設を行います。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,061,000	2,954,719			114,000	2,840,719

事業名／セミナー事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が、こころ豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供することを目的にしています。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち8回公開講座）

学習テーマ：「音楽療法～心と身体に栄養を～」 「柳田國男の妖怪研究」 「エンディングノートで未来を変える！」 「今日から実施できる！感情とうまく付き合う方法を知ろう」 「昔話絵本～メディア環境の影響～」 「徳川家康の生涯」 「悪質商法にご用心！」 「ストレスと健康」等

□効果・達成度

座学だけでなく、課外学習も実施し、受講生の知識習得や交流のための場を提供することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
セミナー受講者数	174	174	中止	81	62	220

□課題・改善

受講者の増加に向け、アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
428,000	288,537			59,560	228,977

事業名／美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

美術展を開催し、優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めることを目的としています。

◆事業の成果

■第40回福崎町美術展

会期：令和4年6月10日（金）～6月12日（日）

会場：エルデホール メインホール

部門及び審査員 日 本 画 島 田 直 季
洋 画 井 上 よ う 子
書 立 山 艸 雪
写 真 し み ず い さ を

彫塑・工芸 石井宏志

美術展応募数・展示数（※令和2年度～令和3年度は中止）

	平成30年度	令和元年度	令和4年度
応募数（点）	195	201	178
展示数（点）	128	130	131

□効果・達成度

日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。
3年ぶりの開催となりましたが、約600人の来場者があり、地域に根をおろした公募美術展として定着しています。

□課題・改善

作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
930,000	841,746				841,746

事業名／文化振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総	◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、文化講演会を実施しました。

◆事業の成果

■文化講演会

日時：令和4年10月29日（土）

場所：文化センター大ホール

演題：「我が野球人生」

講師：掛布雅之

入場者数：約470人

□効果・達成度

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、内容を検討していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
952,000	893,110				893,110

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	3. 図書館費	51,967,000 ^円	51,225,532 ^円	741,468 ^円

図書や雑誌、視聴覚資料等のメディアや情報資料を収集、保管し、利用者への提供により、教養や地域研究、レクリエーション等に資することを目的とした図書館の管理・運営に要した経費で、主な支出として、職員1人及び会計年度任用職員4人の人件費、電気代、施設修繕料、図書購入費、電算機器借上料等です。

事業名／図書館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通じた学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設等の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・空調機中央監視装置調整及びバッテリー交換（110,000円）
- ・外側自動ドア修繕（370,700円）
- ・屋上凍結箇所修繕（264,000円）
- ・バス停付近外灯取替（118,800円）
- ・屋上蓄熱系統凍結予防用止水バルブ増設（407,000円）
- ・内側自動ドア修繕（420,200円）

□効果・達成度

施設や設備については、定期点検等の実施、点検時指摘箇所の早期修繕により、安全安心な施設管理に努めています。

□課題・改善

開館から15年以上経過し、施設も館内各設備も補修を要する箇所が増えています。それらを早期に発見し、修繕をすることで、施設の耐久性を高める必要があります。定期的な見回り、点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
13,420,000	13,014,186			1,890	13,012,296

事業名／図書館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
創 行	I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
	◆ 取 組 内 容	図書館の相互利用促進（播磨園域連携中枢都市圏）	
総	II 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
	◆ 取 組 内 容	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

◆事業の成果

図書館を知るきっかけとなるイベントの実施により、図書館を身近に感じ、そのイベントをきっかけに継続した図書館利用につなげられるよう、来館時にふと目に入る場所に手に取ってみたいくなる本を展示する等、本の配架に工夫することで、読書環境の整備に努めました。

また図書館システムを入れ替え、安定した図書館運営に努めました。

■子ども向け行事

おりがみくらぶ

たなばた会

図書館夏休みイベント つくって！あそんで！スライムスライム！

図書館おばけやしき

どこまでとぶかな？かみひこうき大会

クリスマスコンサート

クリスマス準備工作教室

図書館であそぼ会

図書館マイスター講座

■大人向け行事

キャンドルナイト

■図書館システム入替

旧) 富士通 iLis wingV3

新) NEC LiCS-Re3

公募型プロポーザルにより、導入事業者を選定し、令和4年11月から運用を開始しました。

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。(200,000円)

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
令和2年度	39,578	204,302	18,742
令和3年度	45,036	234,643	19,336
令和4年度	44,133	221,404	19,922

□効果・達成度

令和4年度末の蔵書点数は、160,961点となりました。

令和4年11月に図書館システムを入れ替え、これまでデータ管理用のサーバーを図書館に設置するオンプレミス型から、データセンターでデータを管理するクラウド型に変更することで、より安全なデータ管理が可能になりました。

また図書館システム入替により、図書館利用カードをスマートフォンに表示する機能やこれまでに図書館で借りた本のリストを利用照会ページに表示することができる機能等、利用者の利便性を向上することができました。

福崎町子どもの読書活動推進計画の最終年となり、数値目標の達成状況確認と、第2次計画における目標設定のために当初計画策定時と同様の読書に関するアンケートを町内各小中学校と福崎高等学校の児童生徒、就学前の子どもの保護者を対象に実施しました。

アンケート結果を踏まえ、第2次計画では、「読書好き」の割合を増やすこと、「1か月の不読率」を下げることを目標に、学校園、図書館応援隊等地域の方と連携し、子どもの読書環境整備に取り組んでいきます。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
図書館貸出人数	46,748	43,451	39,578	45,036	44,133	50,000
第2期総合戦略アクションプランKPI	第1期実績 (H27～R1)		R2	R3	R4	目標 (R2～R6)
図書館町外登録者数（累計）	4,437人 (目標：4,200人)		427	806	1,184	2,000

□課題・改善

福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）に沿って、子どもの読書環境を整備していきます。

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進していきます。

またシステムの入替えにより新たに追加された「読書おもいで帳」という通帳型の読書記録帳機能や「読書マラソン」という自分で読書の目標を設定し、達成できたかどうかを見ることができる機能について広報し、子どもが楽しみながら、進んで読書できる仕掛けづくりに努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
22,533,000	22,211,548				22,211,548

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	4. 文 化 セ ン タ ー 管 理 費	34,684,000 ^円	33,889,151 ^円	794,849 ^円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費で、主な支出は、職員3人及び会計年度任用職員2人の人件費、電気代、施設改修工事費です。

事業名／文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の文化意識の向上を図るため、学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点である文化センターの効率的な管理運営を目的としています。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和4年度は、高圧気中開閉器更新工事（451,000円）、電話設備更新（715,000円）、子育て学習セ

ンター東面窓廻り雨漏り修理工事（160,600円）等を行いました。また、床の乾式化と便器の洋式化のため、2階トイレ改修工事（1,995,400円）を実施しました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第39号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数					使用料 （円）	使用者数 （人）
	有料 （件）	無料（件）			合計 （件）		
		町関係他	公民館	教委			
令和2年度	398	122	605	252	1,377	917,580	17,089
令和3年度	309	180	472	407	1,368	914,560	20,003
令和4年度	402	185	582	567	1,736	1,216,210	29,958

□効果・達成度

利用頻度や緊急性を考慮しながら適切な補修を行い、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化が進み、抜本的な施設改修が必要となってきました。利用者が高齢化していることもあり、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,048,000	13,542,900			1,216,210	12,326,690

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	5. エルデホール 運 営 費	103,895,000 ^円	102,699,045 ^円	1,195,955 ^円

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。主な支出は職員1人及び会計年度任用職員3人の人件費、施設の運営費及び改修・修繕費、自主公演の実施に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用を通して地域住民により高い水準の文化活動の場を提供するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋 室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
R2年度	開館日数 272	利用日数(日)	90	84	104	60	45	10
		稼働率(%)	33.09	30.88	38.24	22.06	16.54	3.68
R3年度	開館日数 296	利用日数(日)	176	143	138	78	100	10
		稼働率(%)	59.46	48.31	46.62	26.35	33.78	3.38
R4年度	開館日数 309	利用日数(日)	189	142	209	130	114	19
		稼働率(%)	61.17	45.95	67.64	42.07	36.89	6.15

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
R2年度	1,458,930円	395回	16,108人
R3年度	1,701,840円	667回	62,095人
R4年度	2,604,020円	840回	55,316人

■主な施設及び設備改修・修繕費等

開館から30年が経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。利用者に影響を及ぼす箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新を図っています。

令和4年度は、メインホールの調光基盤改修・客電LED化工事(55,000,000円)を、地方債を借り入れて行いました。また、主な施設及び設備改修・修繕費に係る経費は次のとおりです。

- ・非常用バッテリー交換(440,000円)
- ・メインホール大扉補修(489,500円)
- ・インターロッキングブロック撤去及び再設置工事(286,000円)

□効果・達成度

老朽化し、利用に不具合を生じていた設備を一新し、利便性が大きく向上しました。

メインホール調光基盤の設備改修により、安心・安全に自主事業や貸館が行えるようになりました。また客電を水銀灯からLEDに変更したことで電気代を節減できた他、瞬時に室内を明るくすることが可能になりました。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また耐用年数が過ぎている機器が多く、安全面や運営面からも更新が必要となっています。緊急を要する箇所を洗い出し計画的に修繕や更新を行います。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
79,829,000	78,786,639	1,800,000	49,500,000	3,223,003	24,263,636

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、地域の参加者が多い事業、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業等、テーマ別に実施しました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために6回の自主公演事業を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は2,549,200円でした。

・自主事業一覧

実 施 日	内 容	人数 (人)
5月14日(土)	オペラ『ラ・ボエーム』ハイライトコンサート	252
7月31日(日)	声優朗読劇 柳田國男故郷七十年～日本民俗学の嚆矢～	305
8月21日(日)	エルデサマーコンサート 2022 山口めろんピアノコンサート	176
11月25日(金)	エルデ金曜夜席 桂宮治 独演会	248
12月17日(土)	ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジークリスマスコンサート	307
2月18日(土)	エルデホール 30 周年プレイベント 高石ともやとともに新たなる出発コンサート	194
計		1,482

□効果・達成度

令和4年度は自主事業を6回行いました。年間集客人数は前年度比85.17%でやや減となり、少し苦戦しました。高石ともやコンサートは客層を考えるとまだまだコロナの影響も大きく、伸び悩みました。オペラ『ラ・ボエーム』ハイライトコンサートと山口めろんピアノコンサートは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員数を減らし実施したので完売しましたが、入場者数としては下げの要因となりました。また、桂宮治独演会は出演者のスケジュール都合で金曜日の夜の開催となりました。残念ながら完売とはならず、休日の日中の開催の方がより多くの方の入場を見込めたのではないかと思います。一方、ナターシャ・グジークリスマスコンサートは話題性も高く早々に完売、声優朗読劇はSNSを積極的に宣伝媒体として用いたので完売に至りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
自主公演事業平均入場者数	294	150	133	290	248	300

□課題・改善

自主公演事業平均入場者数は昨年度より下がりました。しかし、目玉イベントである声優朗読劇やナターシャ・グジークリスマスコンサートでは立ち見が出るほどの盛況ぶりで、全体として低迷したわけではありません。今後も引き続き、人々の生きる活力となるような自主事業を企画、広報し、多くの方にご来場いただけるよう努めます。また、令和4年度は文化庁と一般財団法人自治総合センターから助成を受けることができました。今後もさまざまな助成制度を活用しながら文化啓蒙を推進していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,407,000	10,257,217	5,727,000		4,530,217	

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	6. 研 修 セ ン タ ー 運 営 費	6,642,000 円	6,426,024 円	215,976 円

文化センター（中央公民館）の分館で、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている八千種研修センターの管理・運営に要した経費で、主な支出は、会計年度任用職員1人の人件費、電気代、図書購入費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、適切な管理・運営を行うことを目的にしています。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和4年度は、施設の維持補修として、1階女子トイレ排水修理・給水管漏水処理（44,000円）、施設停電復旧処理（14,300円）を実施しました。

■利用状況

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料 (円)	貸出図書数(冊)
令和2年度	592 (76)	6,345	17,050	793
令和3年度	659 (173)	6,947	132,480	903
令和4年度	642 (108)	7,516	72,130	1,027

第37回八千種研修センターまつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、規模を縮小して、10月15日(土)・16日(日)に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

安全面に考慮した施設改修及び施設の保安全管理に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,435,000	3,222,149			72,130	3,150,019

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	7.青少年野外活動センター費	9,164,000 円	8,296,717 円	867,283 円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総 ◆ 取 組 内 容	多彩な学習機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民が自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・街路灯LED化業務(4式) 1,452,000円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・管理棟ホールエアコン更新 495,000円 (請負業者：高岡電工(株))

■主な委託料

- ・清掃委託料 183,870円 (請負業者：(有)シー・エス・シー、田口区)
- ・警備委託料 138,600円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 175,560円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)

■利用状況 (単位：円)

年度	施設利用者数(人)	利用団体数	施設利用料	山小屋	テント	テントサイト	食器類	管理棟・多目的ホール	シャワー	その他(ｼｰﾌﾞ)	合計
令和元年度	8,378	419	1,093,635	128,100	53,560	43,470	38,000	4,590	113,600	0	1,474,955
令和2年度	3,747	389	706,530	58,560	7,700	146,300	12,950	1,650	67,800	63,120	1,064,610
令和3年度	4,144	428	703,120	50,560	6,600	247,500	4,650	5,300	39,600	53,040	1,110,370
令和4年度	4,615	429	793,870	82,240	7,700	265,100	8,350	5,550	67,200	88,560	1,318,570

※利用者は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に利用いただけるよう、今後も利用者の安全を図るための取り組みを継続していきます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
9,164,000	8,296,717		1,700,000	1,318,570	5,278,147

1 次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	8. 人権教育振興費	4,750,000 円	4,344,547 円	405,453 円

日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表わすことが文化として定着している社会をめざしています。人権について、一層理解を深めていただくため、自治会研修会をはじめ、家庭や学校において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づく事業の推進を行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総	I 地域づくり・行政	1 参画と協働	④男女共同参画社会の実現
	◆ 取組内容	男女共同参画社会の形成に向けた各種施策の推進 チャレンジする女性への支援	関係機関との連携、啓発活動の推進
	I 地域づくり・行政	1 参画・協働と透明性の向上	②住民参画による協働のまちづくりの推進
行	◆ 取組内容	女性活躍の推進	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
各種委員会等への女性委員登用率	31.9%	31.3%	31.7%	31.7%	26.1%	33.0%

(第6次行政改革実施計画：令和7年度目標 37.0%)

事業名／人権教育振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総	II 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
	◆ 取組内容	自治会研修会の開催	人権フェスティバルの開催

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の人権意識の高揚を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、自治会研修会を実施しました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催

- 自治会単位人権・青少年健全育成研修会

31自治会が実施 啓発DVD視聴・講話 参加者：771人

■福崎町男女共同参画の推進

- 国の男女共同参画週間にあわせて広報誌掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置
- 国の男女共同参画週間にあわせて講演会開催

講演：演題「エンディングノートで未来を変える！」 参加者：26人

講師 整理収納アドバイザー・行政書士 竹裏 由佳

- ひょうご女性未来会議 i n ふくさき開催を後援

■負担金

- ・ 神崎郡人権教育研究協議会負担金 191,000円
- ・ 神崎郡人権問題対策協議会負担金 172,000円
- ・ (公財) 人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

■補助金

- ・ 自治会単位研修会補助金 741,000円
- ・ 福崎町民主化推進協議会運営補助金 450,000円
- ・ ひょうご女性未来会議開催補助金 300,000円

□効果・達成度

自治会研修会を行うことにより、「相手を正しく知り、お互いを認め合うことが人権課題の解決につながる」ということを学んでいただくことができました。

また、男女共同参画基本計画に基づく事業を実施し、男女共同参画社会の実現に寄与することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
自治会単位研修会への参加者数	1,038	960	198	415	771	1,300
第2期総合戦略アクションプランK P I	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R6)
女性の働き方セミナー受講者数	9	13	8	8	4	10

□課題・改善

自治会研修会への参加者数は平成30年度以降減少傾向にあるため、引き続き、自治会をはじめ、家庭や学校と連携し、人権教育・啓発活動に努め、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に取り組みます。男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを推進します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,224,000	2,042,798				2,042,798

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。地域住民等の人権意識高揚を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、人権・青少年健全育成フェスティバルを実施し、小中学校の主張体験発表及び講演を行いました。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル

令和4年12月3日(土) 文化センター 大ホール 参加者：166人

- ・ 体験発表 小中学生
- ・ 講演 演題：「怒られ力と心に響く怒り方」
講師：落語家 桂 福丸
- ・ 展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,500部 287,980円
- ・「元気UPじんけん」 二十歳のつどい配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「バースデイ」 66,000円

□効果・達成度

人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

あらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
906,000	835,682	272,000			563,682

事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>		町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆ 取 組 内 容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取 組 内 容	いじめをなくす人権意識の高揚 豊かな人間性が育まれる教育の推進	

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

車いす体験、スマホ・ケータイ教室、人権に関する講演会など各種事業に取り組んでいただきました。身近な人権課題解決のためのグループ討議や講話による学習や清掃ボランティア活動などを通じて、子どもたちの互いの人権を重んじ、「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も適正に努めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,620,000	1,466,067				1,466,067

1 次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	9. 辻川界限文化振興費	42,719,000 円	40,086,046 円	2,632,954 円

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な支出としては、会計年度任用職員 3 人の人件費、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅の管理、第43回山桃忌の開催に要した経費です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総創	II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
	◆ 取組内容	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用	地域資源の有効活用、魅力発信
総創	V 産業振興	3 観光	①観光資源の発掘・育成・活用
	◆ 取組内容	三木家住宅、旧辻川郵便局などの文化財の新しい活用	
総創	V 産業振興	3 観光	②魅力ある観光の推進
	◆ 取組内容	官民連携による文化と観光のまちづくりを推進	
総	VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
	◆ 取組内容	辻川山周辺全体を歴史・文化・観光拠点として整備	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

歴史民俗資料館の開館40周年を記念し、歴史民俗資料館の活動を写真や資料を通して振り返るとともに、過去の展示の復刻を試みました。

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月23日～5月31日	企画展「開館40周年記念 PLAYBACK REKIMIN40th」	1,493人	展示点数 88点
10月22日～12月4日	特別展「神崎タイムスにみる福崎 -うつりかわる暮らし-」	1,098人	展示点数 160点
2月18日～4月2日	埋蔵文化財発掘調査速報展「発掘された福崎2021」	1,031人	展示点数 71点

■資料収集

郷土資料を収集しました。令和4年度は、11名の方から民具・文書等74点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数15名

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界限における松岡五兄弟の足跡めぐりをはじめ、ガリ版印刷やコースターづくり等を行い、指導者等さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「地域で伝える歴史文化遺産-取組事例を中心に-」

本講座では、区有文書を含む地域資料に関する連携事業の取り組みや地域の方々が主体的に取り組む村史編集の事例について理解していただく機会を提供しました。

■入館者数 8,500 人（令和3年度 8,533 人、令和2年度 10,436 人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,328,000	4,563,405				4,563,405

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総 ◆ 取 組 内 容	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修	

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。令和4年度は2名の方から新撰姓氏録と退読書歴の2点を寄贈いただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：489,060円（受託業者：㈱工房レストア）

作品6点 「あひびき」「夕顔」「夕顔」「山科のおとつれ」「青砥藤綱」「江口の里」

■講演会

「柳田國男の語る祖母・松岡小鶴」 11月19日（土）

講師：石井正己 参加者：24人

■入館者数9,481人（令和3年度9,823人、令和2年度12,495人）

□効果・達成度

開館45年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検・記録を行い、不具合箇所等の早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	14,059	13,000	12,495	9,823	9,481	16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善やリニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,736,000	6,076,319		400,000	489,000	5,187,319

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総	◆ 取 組 内 容	名誉町民の顕彰を推進	友好都市である遠野市との交流促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。第43回山桃忌、春季・秋季企画展を実施しました。第9回柳田國男検定では、上級編の最高得点者に「旅行券3万円分」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して中止しましたが、版画教室は開催しました。

◆事業の成果

■第43回山桃忌

8月6日(土) (8月16日よりWEB配信)

「日本人と家の継承～松岡家・柳田國男のルーツをさぐる」参加者：127人 視聴者：71人

内容：山桃忌 式典

基調講演「松岡家と学問の創造」柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

記念講演「災害と家の再興」日本民俗学会会長 川島秀一

シンポジウム 「日本人と家の継承」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：昔話研究者

野村敬子

大阪大学名誉教授

川村邦光

神戸大学大学院人文学研究科研究員 井上舞

8月7日(日)

「民俗芸能「里神楽」披露」参加者：111人

内容：「民俗芸能神楽の世界」解説 柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授

石井正己

民俗芸能披露

・篠座神社里神楽 篠座神社獅子舞保存会

■第9回柳田國男検定(初級編、中級編、上級編)

実施日：8月7日(日)

受検者数：初級編16人、中級編10人、上級編8人

合格者数：初級編9人、中級編6人、上級編2人

■展示活動

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月9日～6月5日	企画展「松岡映丘画稿展～映丘が愛した鎧兜～」	1,984人	展示点数 13点
10月1日～12月4日	企画展「柳田國男の先祖、の話」	1,736人	展示点数 38点
11月5日～12月25日	「福崎町子どもふるさと展」	731人	展示点数 61点

■教育普及活動

- ・伊勢大神楽 中止
- ・岩田健三郎版画教室 12月4日（日）講師：岩田健三郎 参加者：13人

■第10回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、賞を贈りました。

- ・小学校低学年の部
尾崎琴（高岡小学校3年生） 作品名「福崎町の公園について」
- ・小学校高学年の部
井藤千都（田原小学校5年生） 作品名「土かべとしっくい の 考察」
- ・中学校の部
原田真優（福崎西中学校2年生） 作品名「福崎駅・駅周辺の歴史」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

令和4年度 受賞者なし

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、企画展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できるわかりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,448,000	3,050,786			24,000	3,026,786

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総 創 ◆ 取 組 内 容	三木家住宅（主屋）の文化交流活動拠点としての活用	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事が終了し、三木家住宅を活用していくため、平成29年度から主屋部分を展示施設として一般公開しています。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、

公開イベントを実施しました。三木家資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による資料調査を実施しました。また、倒壊の危険があった西土堀の補強等工事を行いました。

主屋以外の部分の指定管理者による活用が開始されたことにより、三木家住宅内蔵等に保管されていた貴重な資料を適切に保管・管理するとともに、展示も可能な展示兼収蔵施設を令和2年度に三木家住宅の東側に整備し、資料の収蔵を進めるとともに、実際に資料に触ることができる住民向け資料保存ワークショップ等を継続して開催しました。

◆事業の成果

■主屋公開事業

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
4月29日（金・祝） ～5月29日（日）	企画展「藤本煙津書画修復公開・五月人形展」	—	1,034
7月9日（土）	手づくり講習会「三木家de風鈴づくり」	—	63
7月9日（土） ～8月28日（日）	企画展「手づくり風鈴展」	—	672
10月29日（土） ～11月30日（水）	特別展示「松岡五兄弟からの手紙」	（展示点数 37点）	953
11月3日（木・祝）	手づくり講習会「ツノナス工作」	—	94
11月5日（土）	三木家入門講座⑥ 「松岡五兄弟の手紙を読む」	神戸大学大学院 人文学研究科 井上 舞	30
2月11日（土・祝） ～3月26日（日）	企画展「雛人形と春の民具展」	—	789

■三木家資料保存体験型講座

三木家資料保存ワークショップ「下張り文書はがし作業」（6回）

5月7日（土） 参加者6人 7月2日（土） 参加者5人 9月3日（土） 参加者10人
11月5日（土） 参加者4人 1月7日（土） 参加者3人 3月4日（土） 参加者12人

■画稿等補修委託

委託料：264,000円（受託業者：榊工房レストア）

資料3点 「諸御用日記」「請評文草」「華布囊」

■開館日数・入館者数

開館日数 142日 入館者数 5,400人

■三木家住宅西土堀補強等工事

土堀の倒壊防止のため、鉄骨、ワイヤーによる補強をし、中塗等を行いました。

工事費：7,810,000円（請負業者：株式会社 神田組）

□効果・達成度

四季に応じた展示、講習会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。また、資料調査の成果を活用した特別展示を実施することで辻川界限への来訪の機会を高め、住民とともに資料整理を行うことで文化財への興味関心を高めました。

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプランKPI	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R6)
宿泊者数（三木家住宅、歴史・文化館）	—	—	546	623	1,820	2,000

□課題・改善

指定管理者等と連携して、まちの歴史を伝える文化財として三木家住宅の保存を図りつつ、来訪者の興味・関心を高める展示やイベントの充実に努めます。展示兼収蔵施設に収蔵できなかった資料を適切に保管・継承していくための収蔵場所が必要です。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,396,000	13,669,532	3,905,000	3,500,000	250,000	6,014,532

事業名／歴史・文化館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

歴史・文化館の管理にかかる費用です。

◆事業の成果

- 歴史・文化館の建物共済保険加入及びエレベーター点検を実施しました。

□効果・達成度

歴史・文化館の適正管理に寄与しました。

□課題・改善

今後も施設の適正管理に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
201,000	200,459				200,459

事業名／辻川界隈文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界隈の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組むとともに、地域の環境美化に努めました。

◆事業の成果

- 松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入及び、環境美化の取組として草刈りなどを行いました。

□効果・達成度

辻川界隈の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

辻川界隈の活性化に向けた検討を進める必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,439,000	1,357,014				1,357,014

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	10. 文化財保護費	57,102,000 ^円	55,872,882 ^円	1,229,118 ^円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査、文化財保存活用地域計画の作成です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
	◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）
総 創	Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
	◆ 取 組 内 容	三木家住宅、旧辻川郵便局の新たな活用	
総	Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	②緑化の推進
	◆ 取 組 内 容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保護し、活用を図るため、指定文化財の保存継承事業や古墳周辺整備等への補助金交付を行いました。文化財審議委員会を組織し、文化財行政について専門的な立場から審議いただきました。

福崎町の地域歴史遺産の掘り起こしを進めるため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。

◆事業の成果

■町指定文化財保存補助金

淨舞（大歳神社・余田）・追儺（神積寺）・法成就講（高橋）・大塚古墳（山崎）
相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）

■県指定文化財保存補助金

かくしほちょじ（鍛冶屋）・妙徳山古墳（神積寺）

■文化財審議委員会

第1回：令和4年8月17日（水） 第2回：令和5年3月20日（月）

□効果・達成度

町指定文化財保存継承事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。

神積寺本堂を新たに町指定有形文化財として指定しました。

神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、記念館・歴史民俗資料館において展示や資料整理の指導助言、松岡家に関する資料調査も継続して行い、調査成果は広報誌等で広く町民に発信しました。令和4年度は、松岡小鶴・真継陶庵に関する資料収集・分析の成果を企画展で披露しました。また、地域資料の保全、活用のため、調査・整理を継続して行い、住民の方々と活動の成果報告展示会を地域の公民館で開催しました。三木家住宅ふすま下張り文書の保存処理や整理作業を住民の方と共に進める

ためのワークショップを開催し指導いただき、文化財への関心を高めました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
文化財の指定件数	46	46	47	47	48	47

□課題・改善

地域所在資料を広く地域住民に知ってもらい保存・継承につなげるため、引き続き住民と協働した資料整理・展示会の企画など継続した取り組みが必要です。

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。

文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,900,000	1,630,312				1,630,312

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策		町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財		②文化財の保護・活用の推進
総 ◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開		収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

民間開発等に伴う試掘調査を25か所、立会調査を2か所、確認調査を3か所、本調査を1か所で行いました。試掘調査の結果、遺構が見つかったことから田尻宮ノ前遺跡で本調査を実施しました。

また、高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財調査では、宮ノ前遺跡、観音堂遺跡の調査を実施し、飛鳥・奈良時代を中心とした掘立柱建物等の遺構が見つかるなどの成果が得られました。山崎地区ほ場整備事業に伴う試掘調査も実施し、遺構の有無を確認しました。

埋蔵文化財調査報告書を刊行し、調査成果の公開を行うことができました。

■民間開発等に伴う試掘・立会調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
個人住宅建設に伴う南田原字西ノ垣内試掘調査ほか26件	—	—	宅地	令和4年4月19日 (半日)	計230㎡

■民間開発等に伴う確認調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
駐車場新築工事に伴う南田原条里遺跡確認調査(第55次)ほか2件	弥生 奈良 平安	集落	水田	令和4年4月25日 (半日)	計12㎡

■民間開発等に伴う本調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
宅地造成工事に伴う田尻宮ノ前遺跡本調査（第1次）	中世	集落	宅地	令和4年9月5日 （1日）	90㎡

■ほ場整備事業に伴う本調査等

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
宮ノ前遺跡（第3次）	飛鳥 ～奈良	集落	水田	令和4年6月15日～ 令和5年3月24日（113日）	5,450 ㎡
観音堂遺跡（第4次）	飛鳥 ～奈良	集落	水田	令和4年8月18日～ 令和5年1月22日（58日）	1,144 ㎡
山崎地区ほ場整備事業に伴う試掘調査	—	—	水田	令和4年11月14日～ 16日（3日）	13 か所 52 ㎡

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで新たな埋蔵文化財が発見され、記録保存を行うことができました。

□課題・改善

引き続き、ほ場整備事業や民間開発事業等との円滑な調整を図り、調査を実施していく必要があります。また、地域住民に埋蔵文化財の価値や調査への理解を深めてもらうために、発掘調査の結果を講座や展示会、現地説明会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進め、調査報告書の刊行に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
50,119,000	49,450,356	45,087,000			4,363,356

事業名／地域文化財総合活用推進事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の文化財及びその周囲を含め総合的に把握し活用するための基本的なアクションプランとして、福崎町文化財保存活用地域計画を令和2年度から3か年で作成しました。3年目となった令和4年度では、福崎町文化財保存活用地域計画協議会において計画の内容を協議のうえ決定し、国の文化審議会の答申を経て令和4年7月に文化庁の認定を受けました。また、計画を広く周知するために、地域計画（本文編）・（資料編）と概要版を作成しました。

◆事業の成果

■文化財保存活用地域計画協議会

第7回：令和4年6月7日（火） 第8回：令和5年2月6日（月）

■文化財保存活用地域計画作成支援業務委託料 2,090,000円（受託者：㈱スペースビジョン研究所）

■文化財保存活用地域計画冊子印刷

本文編：300部 597,300円 資料編：300部 990,000円 概要版：10,000部 253,000円

資料編抜き刷り（自治会ごとに印刷） 495,000円

□効果・達成度

福崎町文化財保存活用地域計画協議会において多くの関係者から意見を得て、文化財の保存・活用に関する方針や長期的な取組についての指針となる福崎町文化財保存活用地域計画を作成し、文化庁の認定を受けることができました。未指定も含め文化財を取りまとめた文化財データベースは令和2年度から調査、精査を進め、令和4年度末時点で2,258件の文化財が確認されました。この文化財データベースを基に自治会ごとに文化財をまとめた資料編は、地域の文化財を再認識する機会として、住民の関心や理解を深める効果がありました。

□課題・改善

福崎町の文化財をまちづくりに活かしながら、次世代へと伝えていくための計画内容を広く住民に周知するとともに、計画に基づいて文化財の保存・活用を進めていきます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,083,000	4,792,214	1,978,000			2,814,214

1 次評価：B

(5) 保健体育費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	1. 保健体育総務費	18,895,000 ^円	18,485,872 ^円	409,128 ^円

体育館等スポーツ施設の管理等に要した経費で、主な支出として、職員1人及び会計年度任用職員3人の人件費、光熱費、施設修繕費、清掃費、機器借上料、施設案内標識設置工事費、各種団体補助金等に要した経費です。

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、世代性別を問わず、多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
◆ 取 組 内 容	指導者の育成 指導体制の確立支援	指導者や審判等の資質向上支援
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
◆ 取 組 内 容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の実施
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
◆ 取 組 内 容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会や講習会等を企画し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応し、日常

生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関する審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため各種研修会に出席しました。

□スポーツ推進委員会

第1回 令和4年4月6日(水) 第2回 令和4年7月27日(水)

第3回 令和4年11月9日(水) 第4回 令和5年1月18日(水)

- ・ひょうご女性スポーツの会総合開会式 令和4年6月18日(土) 神戸市
- ・全国スポーツ推進委員研究協議会 令和4年11月17日(木) 18日(金) 滋賀県草津市
- ・兵庫県スポーツ推進委員女性委員研修会 令和4年12月4日(日) 姫路市
- ・ひょうご女性スポーツの会競技別大会 上記と同時開催

■健康推進事業

スポーツ推進委員の知識・技術を活用し、暮らしの中での運動習慣の推進を行いました。

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人13人及び団体1組を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
吉田正道	姫路商業高等学校 3年生	令和4年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 走幅跳	優勝
片岡寧音	鳥取城北高等学校 3年生	令和4年度全国高等学校総合体育大会 ソフトボール競技大会	出場
長澤 元	大阪桐蔭高等学校 2年生	第53回明治神宮野球大会 硬式野球	優勝
宮内綾花	福崎西中学校 3年生	令和4年度全国中学校体育大会 第49回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子4種競技	第4位
小西良空	〃	令和3年度 JOC ジュニアオリンピックカップ 文部科学大臣旗争奪 未来くん杯第16回全国中学生空手道選抜大会	出場
尾崎 楓	関根学園高等学校 3年生	令和3年度全国高等学校総合体育大会 第71回全国高等学校スキー大会 女子大回転	出場
中井敬翔	飾磨工業高等学校 3年生	令和4年度全国高等学校総合体育大会 ボクシング競技大会	出場
木村くるみ	〃 2年生	令和4年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第53回柔道大会	出場

梶間達也	〃 3年生	令和4年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第57回陸上競技大会 4×100m	優勝
竹内優心	東洋大附属姫路高等学校3年生	第94回選抜高等学校野球大会	出場
下川壘駕	福崎小学校2年生	第10回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会	第4位
川端拳史	東京国際大学3年生	第99回東京箱根間往復大学駅伝競技	第7位
松浦歩花	福崎東中学校3年生	第18回都道府県対抗全日本中学女子ソフトボール大会	出場
神戸医療未来大学男子バスケットボール部		第98回天皇杯全日本バスケットボール選手権大会	出場

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげました。健康セミナーを2回開催し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

スポーツ健康分野において、スポーツ推進委員の能力を生かし活発な活動を続けていきます。また、体育普及員と協力し地域における健康増進活動を活発に進めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,585,000	1,519,294				1,519,294

事業名／町体育協会等育成事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み	
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化	
総 ◆ 取 組 内 容	各団体が活発に活動できる体制づくりの支援	各団体への施設開放による支援	

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町体育協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体とも活動の自粛を余儀なくされましたが、そのような中でも感染症拡大防止対策を実施し、できる範囲での活動を行いました。

◆事業の成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■福崎町体育協会加盟団体一覧

R 5 . 3 . 31現在

団 体 名	会 長 名	会員数 (人)	団 体 名	会 長 名	会員数 (人)
庭 球 協 会	佐伯武彦	21	卓 球 協 会	高松繁樹	21
陸 上 競 技 協 会	岩崎文治	27	バレーボール協会	松山濫久	19
少 林 寺 拳 法 協 会	生田久人	24	水 泳 協 会	三輪和幸	21
柔 道 協 会	難波弘一	40	山 の 会 協 会	楠田道廣	35
合 氣 道 協 会	羽室研二	21	ソフトボール協会	三輪一朝	214
ソフトバレーボール協会	米田 泉	45	グラウンドゴルフ協会	尾崎慶三	168
剣 道 協 会	大西崇博	7	ゴ ル フ 協 会	北山孝彦	7
			合 計		670

■福崎町体育協会決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	28,000	加盟協会から @2,000×14	事 業 費	1,570,123	加盟協会助成金 他
補 助 金	1,544,000	町補助金	事 務 費	15,475	事務用品他
繰 越 金	159,160	前年度繰越	基 金 費	50,000	50周年記念事 業積立金
事 業 収 入	16,000				
雑 入	1	利息	予 備 費	0	
合 計	1,747,161		合 計	1,635,598	

収入支出差引額 111,563円(令和5年度へ繰越)

■福崎町スポーツ少年団決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	80,000	加盟団から @1,000×80名 他	登 録 費	72,400	県登録料他
			事 業 費	105,000	大会補助金他
			事 務 費	2,230	郵便料他
補 助 金	105,000	町補助金	会 議 費	0	
繰 越 金	67,471	前年度繰越金	慶 弔 費	0	
雑 入	40		予 備 費	0	
合 計	252,511		合 計	179,630	

収入支出差引額 72,881円(令和5年度へ繰越)

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む14協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,649,000	1,649,000				1,649,000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)	

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進、子ども会の自主的な活動の充実と町内子ども会相互の連携を目的としています。

◆事業の成果

□効果・達成度

子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会・郡球技大会の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、町青少年少女将棋大会を開催しました。

◆事業の成果

■町青少年少女将棋大会：令和4年12月4日(日) 場所：福崎町文化センター

参加者

小学校低学年の部	4人
小学校高学年の部	6人

□効果・達成度

町青少年少女将棋大会では、子どもたちの精神的な向上を図るとともに、子ども同士の交流を促進することができました。

□課題・改善

子ども会活動が円滑に実施できるよう、啓発等の準備を進めます。

また、今後に向けて多くの子ども会会員が参加できる事業について協議していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,126,000	922,853				922,853

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	2.給食運営費	232,264,000 円	230,811,969 円	1,452,031 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体力の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは「福崎町すこやかヘルスプラン」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した

食育に取り組みました。

給食運営に要した主な支出は職員1人、会計年度任用職員1人にかかる人件費、燃料費、光熱水費、修繕料、賄材料費、委託料、使用料及び賃借料、工事費、一般備品等です。

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年4月から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図っています。各作業場に設置した6台のテレビカメラシステムを活用し調理現場における安全衛生管理を行いました。また、夏場の給食配送時に保冷剤を使用し食中毒等の対策を行いました。

給食の試食会については、申込4回(延人数26人)を受入れました。施設は築後19年が経過し、耐用年数や部品供給の観点から設備改修工事を行いました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位：円)

年度	区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
令和4年度	現年度	101,834,424	101,342,119	0	492,305	99.5
	過年度	874,231	308,314	0	565,917	35.3
	計	102,708,655	101,650,433	0	1,058,222	99.0
令和3年度	現年度	103,079,124	102,613,778	0	465,346	99.5
	過年度	670,387	261,502	0	408,885	39.0
	計	103,749,511	102,875,280	0	874,231	99.2

私立認定こども園から給食事業諸経費納付金(給食にかかる電気代・水道代・消耗品費)として、609,000円を収入しました。

■支出状況

平成15年6月の供用開始から19年が経過し、厨房機器・設備機械等や空調設備について耐用年数や部品供給の観点から修繕又は交換工事を行いました。

■学校給食費 調定額及び収入状況 (R5.5.31現在)

(単位:円)

学校または施設名	調 定 額		収 入 済 額		不納欠損額		収 入 未 済 額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福 崎 小	20,608,564	191,848	20,545,297	71,535	0	0	63,267	120,313
高 岡 小	2,688,216	6,608	2,612,616	1,280	0	0	75,600	5,328
田 原 小	23,369,345	180,149	23,328,369	131,112	0	0	40,976	49,037
八千種小	6,447,905	29,144	6,422,705	6,710	0	0	25,200	22,434
計	53,114,030	407,749	52,908,987	210,637	0	0	205,043	197,112
西 中	14,038,351	368,226	13,822,349	39,959	0	0	216,002	328,267
東 中	16,373,213	81,644	16,308,401	41,106	0	0	64,812	40,538
計	30,411,564	449,870	30,130,750	81,065	0	0	280,814	368,805
福 崎 幼	3,325,784	0	3,325,784	0	0	0	0	0
高 岡 幼	521,105	0	521,105	0	0	0	0	0

田 原 幼	5,389,228	16,612	5,382,780	16,612	0	0	6,448	0
八千種幼	2,151,762	0	2,151,762	0	0	0	0	0
計	11,387,879	16,612	11,381,431	16,612	0	0	6,448	0
給食センター職員	728,571	0	728,571	0	0	0	0	0
私立こども園	6,192,380	0	6,192,380	0	0	0	0	0
計	6,920,951	0	6,920,951	0	0	0	0	0
合 計	101,834,424	874,231	101,342,119	308,314	0	0	492,305	565,917

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、令和3年度と同じ99.5%となりましたが、過年度給食費の徴収率は令和3年度より3.7%減の35.3%となりました。また、現年度・過年度合わせて徴収率は99.0%でした。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。厨房機器等の更新も計画的に実施していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
33,493,000	32,778,788		3,900,000		28,878,788

事業名／給食センター給食事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆取組内容	食育の一環として地産地消を推進	安全・安心な学校給食の提供
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	②食育の推進
総創◆取組内容	もち麦の健康効果の周知と利活用	

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に野菜は地元産を、魚・肉は県内産を優先して使用し、年中行事等に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町すこやかヘルスプラン」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ精麦やもちむぎ麺を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えました。

栄養教諭が小・中学校を訪問し食育指導を行い、また、給食センターと保健センターで共同して各認定こども園を訪問し食育教室を開催するなど食育に取り組みました。

一日平均給食供給人員は約2,265人で給食延べ人員は、461,218人でした。給食日数は、小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園（1号認定）年間168日、（2号認定土曜日保育無）年間230日、（2号認定土曜日保育有）年間268日、（3号認定）年間268日です。

平成30年度から調理・配送業務を民間委託し、学校給食運営の合理化を図っています。

【コーベフーズ株式会社：60,871,800円】

- 給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で102,503,638円です。

給食原材料費内訳 (単位：円)

区 分	金 額
副 食 費	62,387,681
米 飯 代	16,560,929
パ ン 代	5,359,087
牛 乳 代	18,195,941
計	102,503,638

■地産地消の取り組み

・「福崎町すこやかヘルスプラン」の中の「地産地消の推進」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を55%と定めており、令和4年度の地産地消率は45.4%と令和3年度よりも2.4%増となりました。主な理由は地元生産者（1団体）が増えたためです。

・農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら開発した地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロッケ」や地元産さつまいもを使用した「さつまいもコロッケ」を令和4年度も給食に提供しました。また、7月には「夏野菜カレー」、11月には白菜、大根を使用した「じゃぶ汁」とさつまいもを使用した「さつまいものクリーム煮」、2月には水菜を使用した「豚肉のはりはり汁」を提供し、地元産の野菜を中心に使用して地産地消を推進しました。地元産大豆で作られた「手作りみそ」を使用したみそ汁は年2回提供しました。

・毎月19日の食育の日献立では、地元産野菜の使用率100%をめざしました。また、もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」や、もちむぎ麺を使用した「かやくもちむぎ麺」や「もちむぎそうめん汁」、「冷やしもちむぎ麺給食」などを提供しました。

□効果・達成度

給食にもち麦や地元野菜を積極的に取り入れ、児童・生徒に親しみをもってもらよう食育指導等でその良さを伝えました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やします。野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に地元産の野菜を増やす努力をしていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
189,491,000	188,762,991			102,259,433	86,503,558

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	3. 町民グラウンド 管 理 費	13,116,000 ^円	12,474,985 ^円	641,015 ^円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました

事業名／町民第1，第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1，第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕等を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンド時計取替工事 231,000円 (請負業者：福崎電業(株))
- ・第1グラウンドネットフェンス修繕工事 299,200円 (請負業者：播州道路施設(株))
- ・第2グラウンドトイレ天窓明り取り工事 70,950円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第1グラウンド夜間照明灯修繕工事 374,000円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第1グラウンド施設案内標識設置工事 283,800円 (請負業者：播州道路施設(株)) 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・清掃委託料 198,660円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・電気設備管理委託料 118,800円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)
- ・草刈等委託料 121,950円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター) 他

□効果・達成度

第1グラウンドでは、時計取替、ネットフェンス修繕工事、夜間照明灯修繕工事などを行い、より快適にスポーツ活動を行える環境に整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心とした利用がありました。令和4年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、102,198人と前年に比べやや増加となりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H30	R1	R2	R3	R4	目標(R5)
社会体育施設利用者数 (町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)	126,931	120,133	84,010	97,346	102,198	135,000

□課題・改善

第1グラウンドは、改修工事を実施して以降、グラウンド内は利用者が安全で快適に利用できています。しかし、敷地周辺を含め、樹木の伐採や除草など管理面での課題は多々あります。第2グラウンドも含め、今後は施設の計画的な修繕及び効率的なグラウンド整備を進めていきます。

(単位：円)

予算額	決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,815,000	4,566,114			544,500	4,021,614

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・スポーツ公園複合遊具ロープネット交換工事 129,800円（請負業者：吉田体機工業(株)）
- ・スポーツ公園旧街路灯配線撤去工事 96,800円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・スポーツ公園トイレ天窓明かり取り取替工事 96,800円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・テニスコート白帯交換 121,000円（請負業者：(有)加西平和堂スポーツ）
- ・スポーツ公園案内標識設置工事 236,500円（請負業者：播州道路施設(株)）等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 277,200円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・芝生管理委託料 616,000円（請負業者：植岡造園）
- ・電気設備管理委託料 132,000円（請負業者：小國電気設備管理事業所）
- ・清掃委託料（第2体育館） 132,154円（請負業者：(有)シー・エス・シー）
- ・消防設備点検委託料（第2体育館） 8,580円（請負業者：神姫防災）
- ・スポーツ公園樹木等伐採委託業務 275,000円（請負業者：高岡電工(株)）

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ソフトボール場は表土が風雨による流出や飛散により、傷みが目立つため、土の入れ替え、整備の必要があります。施設全体の照明設備についても水銀灯を採用しているため、安定器の寿命も含め、LED化への検討もしていく必要があります。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,736,000	5,451,314			1,169,960	4,281,354

事業名／町民第3グラウンド管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総 ◆ 取 組 内 容	浄化センター周辺の修景施設を含めた公園利用	

◆事業内容(目的・必要性)

町民第3グラウンド（さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場）を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕を行い、より便利に利用できるようになりました。

- ・第3グラウンド自動販売機用電源工事 55,000円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・第3グラウンドトイレ換気扇取替工事 112,000円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・スケートボード場フェンス修繕工事 143,000円（請負業者：播州道路施設(株)）等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 138,600円（請負業者：セコム(株)加西営業所）

- ・電気設備管理委託料 68,640円（請負業者：小國電気設備管理事務所）
- ・清掃委託料 288,750円（請負業者：（公社）中播広域シルバー人材センター）
- ・消防設備点検委託料 19,800円（請負業者：（株）消防装備）

□効果・達成度

さるびあドーム・スケートボード場・遊具広場は、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの形成に貢献できました。

□課題・改善

ドーム内グラウンドについては、定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。スケートボード場については、利用者が増えていますが、年長者のヘルメットの未着用が目立ちます。今後は、啓発・監視体制を検討し、安全で快適に利用できるように努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,565,000	2,457,557			1,372,800	1,084,757

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	4. 学 校 施 設 社 会 開 放 費	800,000 ^円	706,345 ^円	93,655 ^円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名／学校施設社会開放事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総 ◆ 取 組 内 容	各団体への施設開放による支援	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	326	269	493	395	225	294	2,002
	使用人数(人)	6,399	3,544	13,371	11,191	4,585	5,003	44,093
	使 用 料(円)	122,800	20,520	104,840	328,790	68,880	96,070	741,900
グ ラ ウ ン ド	使用回数(回)	104	51	8	206	3	5	377
	使用人数(人)	2,690	975	1,440	5,531	700	1,060	12,396
	使 用 料(円)	4,400	0	6,600	133,100	3,300	3,300	150,700

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習活動の場と機会を提供しました。

スポーツクラブ4団体や各種団体のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

学校行事に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
800,000	706,345			706,345	

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5.保 健 体 育 費	5.体育館運営費	8,862,000 ^円	8,321,388 ^円	540,612 ^円

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し、さまざまな教室・講習会を開催しました。また、小学生向けの行事を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

事業名／町民体育館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
	◆ 取 組 内 容	スポーツ施設の充実	
総 創	Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
	◆ 取 組 内 容	各種教室及びスポーツ大会の充実	
総	Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
	◆ 取 組 内 容	職員のスキルアップ(多様なニーズに対応)	

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。近年、世代性別問わず誰もが参加できるニュースポーツの需要が高まっており、カラーリングや囲碁ボールを購入、講習会などで活用しました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振

興を図るため、今後のスポーツ大会・教室等のプログラム向上について検討しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・ 体育室ロールスクリーン取付工事 169,693円（請負業者：(株)モリ）
- ・ 球技室倉庫タイル張替等工事 101,063円（請負業者：(株)モリ）
- ・ 第1体育館案内標識設置工事（その1） 279,400円（請負業者：(株)創美工芸）
- ・ 第1体育館案内標識設置工事（その2） 311,300円（請負業者：播州道路施設(株)） 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・ 年末清掃委託料 382,800円（請負業者：(株)新栄ビルサービス）
- ・ 自動ドア保守点検委託料 46,200円（請負業者：寺岡オート・ドアシステム(株)）
- ・ 消防点検業務委託料 24,200円（請負業者：(株)消防装備）

＊町民体育館利用人数

（単位：人）

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
令和2年度	12,853	3,836	2,860	5,597	6,424	31,570
令和3年度	13,952	3,920	3,327	5,154	8,103	34,456
令和4年度	14,389	4,446	4,426	6,033	6,628	35,922

■ 各種大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながらできる限り実施しました。

小学生対象の生活塾シリーズについては、代替行事を実施しました。

大会名	期日	場所	対象	参加者
マスターズソフトボール大会	4/10	第1グラウンド	35歳以上の男女。チーム年齢合計が360歳以上で構成	4チーム
町民親善グラウンドゴルフ大会	5/7	第3グラウンド	誰でも可	33チーム
山菜ハイキング	5/21	鉢伏高原	誰でも可	20人
カヌー教室	6/26 8/6	野外活動センター	町内小学4～一般	12人 8人
アウトドア生活塾	7/31	野外活動センター	町内小学4～6年生	8人
自治会親善ソフトボール大会	8/18～24	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	29チーム
地域職域親善ソフトボール大会	11/13	第1グラウンド	町内在住在勤者	8チーム
子ども遊びフェスティバル！	1/21	第1体育館	町内幼稚園児以上及び保護者	70人
ふれあいワンデー生活塾	7/24	野外活動センター	町内小学1～3年生、民生児童委員	24人

■ スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	内容・対象	参加者
健康セミナー	8/27	文化センター	健康体操コグニサイズ	16人
	11/12	体育館体育室	背骨コンディショニング	11人
カローリング大会	2/25	体育館球技室	町内小学生以下及び保護者	40人

■ 健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1 期	2 期	3 期
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	16人	13人	13人
はじめての筋トレ教室	誰でも可	第 2 水曜日	9:30～11:00	10人		
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30～10:15	97人		
健康ソフトバレークラブⅠ	誰でも可	火曜日	10:15～11:45	23人		
健康ソフトバレークラブⅡ	誰でも可	金曜日	10:15～11:45	22人		
にこにこスポーツ教室	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	10人		
いきいき教室	誰でも可	火曜日	13:30～15:00	15人		
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	9:30～11:00	45人		

□効果・達成度

各種大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながらできる限り実施しました。その他講習会や健康・スポーツ教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加でき、多くの方の健康維持増進に努めました。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。

参加数が減少している事業を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開等検討していく必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,531,000	8,040,988			2,406,630	5,634,358

事業名／地域スポーツ奨励事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び施設使用料等における経費の補助を行いました。

◆事業の成果

■ スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

- ・福崎小学校へ 48,000円 ・田原小学校へ 48,000円 ・高岡小学校へ 28,800円
- ・八千種小学校へ 48,000円 ・福崎東中学校へ 28,800円 ・福崎西中学校へ 28,800円

■ スポーツクラブ連合補助金を交付しました。

- ・スポーツクラブ連合補助金 50,000円

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
331,000	280,400				280,400

IV 学識経験者の意見

1. 就学前の子育て支援事業

- ① 病気やけがで集団生活ができない児童と保護者の支援など、神崎郡3町で病児保育事業が実施されて、安心して子育てができる支援がなされており、都市部ではなく小回りの利く“町”ならではの取組であると感じた。

令和3年度より利用者が増加しており、保護者にとって大変ありがたい事業であるので、さらなる広報に努めていただきたい。

- ② 認定こども園では、午後7時までの延長保育や、緊急、一時的に家庭保育できない認定の一時預かり事業もなされ、保護者のニーズに対応した取組となっている点はとても評価できる。
- ③ 園児送迎バスの利用者数は少ないが、ニーズのある家庭への対応として、必要であると感じる。安全安心な運行を継続していただきたい。
- ④ 各子育て支援センターの事業は、核家族化が進む中、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場として、必要性が高い。今後も今までどおり、活動を継続していただきたい。

- ⑤ 学童保育園の利用状況が4月当初から月を追うごとに減少している点は気になるが、両園において、工夫された取組がなされており評価できる。また、空調の更新を行い、快適な環境づくりに努めた点は評価できる。

なお、学童保育利用者数の「目標値350人」と高いということは、帰宅時の留守家庭が多いということか。子どもの教育や成長上、目標値の増加については悩むところである。

- ⑥ 放課後子ども教室では、宿題・絵本の読み聞かせなどを行い、下校時刻を他学年と合わせることでより帰宅時の安全確保に寄与している。学童期の子どもたちをもつ保護者のために安全であたたかな子育てを支援している。

2. 教育委員会関係事業

- ① 教育委員会では、定例会議の他、町長部局と連携を図り、総合教育会議に出席されるなど、民意を反映された行政を推進されている。幅広く、多様な住民要望への対応と共に、学校現場の子どもたちと先生方の事実に向き合い続けられていることに敬意を表する。

コロナ禍で中止されていた学校訪問や学校行事の視察が再開されたとのことであるので、教育委員会と各小中学校がより連携を密にし、学校の抱える課題に協働で取り組み、情報の収集と共有に努め、各小中学校への支援を実施していただきたい。

- ② 不登校指導では、不登校児童・生徒の増加に伴う不登校指導員の配置も含め、教職員と共に問題解決に早期対応された。また、ICT支援員も配置され、学校での活用支援をされた。学校現場での子どもたちのさまざまな悩みや問題、個別最適化へのニー

ズと、それにあたたかく対応し続ける教員の多忙化が、支援員の方の力で軽減され、解決に向かうことを願う。

不登校指導員、ICT 支援員の配置等、マンパワーの充実は、教職員の勤務時間の適正化にも大きな効果がある。人件費に多大な予算が必要となるが、ぜひ継続、充実させていきたい。

- ③ 小学校では、英語が教科化され、単語学習や熟語表現など、教科としての色が濃くなり、これまで楽しさはなくなり、あまり面白くないと感じる児童もいると聞く。ALT の先生にどんどんアイデアを提案・提供してもらい、英語担当教諭と連携して、楽しい英語授業の実践を展開していただきたい。

3. 学校関係事業

- ① 教育委員会の事業と合わせて、学校現場の先生方の日々のご努力に頭が下がる。OECD Education2030（※1）で教育の方向が示され、学校現場が大きく変わる時だと思う。個々の知識のみならず、自分とまわりと世の中、皆の幸せに向けて、子どもたちが学ぶ意識をもち、なりたい自分になる自己実現と共に、福崎から地球全体の将来を考えられるような人材が育っていくことを期待している。
- ② トイレ改修は、児童・生徒にとっても評価が高い。学校施設の長寿命化改修を今後も計画的に進めていただきたい。
- ③ 遠野市との交流授業では、代表で行った児童が、各小学校で体験発表会などの場があるのか気になるところである。せっかくの体験を個人のものととどめるのではなく、6年生全体で共有できるよう各小学校と連携を望む。
- ④ 全体的な児童・生徒数が減少している中、特別支援学級に在籍する児童・生徒数は増加傾向にある。障がいや特性に応じた教育活動を今後も推進していただきたい。
- ⑤ 学校現場を視察した際、コロナ禍により前倒しで進んだ GIGA スクール構想に基づき導入された 1 人 1 台端末等が福崎町では非常に有効に学習活用されていると感じた。ICT を用いた教育が、個別最適化された学びと協働的な学びにバランスよく相乗効果をあげて活かされていて、いきいきした子どもたちの表情や先生方の努力の様子からも、今後のさらなる教育効果が期待される。

なお、1 人 1 台端末の導入には、機器の更新等、整備に費用がかかるが、これからの時代を生き抜く児童・生徒にとっては、必要不可欠なことであるので、今後も適切に整備を進めていきたい

（※1）複雑で予測が困難な 2030 年の世界を生き抜くために、生徒たちに必要な力は何か、そしてそれをどのように育成するのかといったことを検討するために OECD（経済協力開発機構）が 2015 年に立ち上げたプロジェクトのこと。

4. 給食センター事業

- ① 物価高騰が続く不安定な状況の中でも、何も問題が起きずに安全な給食が提供され続け、地産地消も進んでいることをありがたく思う。
- ② 給食で福崎町の特産物である「もち麦」が提供され、地元を愛する心の育成につながっている。今後も地元産の野菜や県内産の魚・肉を優先した献立作成を継続していただきたい。

5. 社会教育事業

- ① 令和4年の民法改正で成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたため、これまでどおりの20歳になる方を対象に「成人式」を「二十歳のつどい」と改称し、感染防止対策をしながら開催された。この時期に福崎町を盛り上げ、これから福崎町を創っていく若者への教育と共に、ウェルビーイング（※2）な町づくりをコラボしていく方向を構築できればと考える。
- ② 吉識雅夫科学賞については、今後必要とされる「探究活動」の一環として、各校で積極的な取組を期待する。夏休みの課題としてだけではなく、研究の方法やまとめ方などについても情報提供していただきたい。
- ③ 兵庫県数学・理科甲子園ジュニアで福崎東中学校が優勝したことは、特筆に値する。
- ④ 福崎町主催事業で、オープニング等に主催者が出演を依頼する場合には、必要経費（リハーサルに伴う会場使用料、必要な器具の運搬に係る費用）等の予算措置をして出演者側の負担軽減を図る必要があるのではないだろうか。
- ⑤ 県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づいて啓発事業などがなされている。子どもたちの心の教育活動のみならず、性的マイノリティをテーマとした啓発DVDの購入や人権啓発冊子の配布を含め、家庭でもあらゆる人権問題に関心をもたれ人権尊重の意識を高められるよう、フェスティバルの継続開催も計画されている。

人権教育振興費の効率性の1次評価が「やや低い」となっているのは、人権教育が事業の全領域で、丁寧に取り組まなければならないことを示していると感じる。学校教育の中に人権講演会等を取り入れるなど、道徳の授業と連携した取組を進めてみてはどうかと思う。

地域住民に関しては、やや非効率ではあるが、引き続き自治会研修を継続して、住民の人権意識の高揚に努めていただきたい。

- ⑥ 各種事業を実施する際、スタッフの一員として県立福崎高校や神戸医療未来大学の生徒・学生にボランティアを募ってはどうか。

（※2）身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを表すもので、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念のこと。

6. 芸術・文化事業

- ① 公民館費の1次評価がBとなっているのは、公民館クラブの高齢化や若年層の利用促進が課題となっているためだと思われる。老人大学の講座の一部もしくはサルビアセミナーの学習テーマの一部に子育て支援センターの事業を融合させることはできないだろうか。地域に住む3世代が交流することで、何かが生み出されるのではないだろうか。
- ② 講演会は、講師と開催時期、時間帯により集客数・来場者数が大きく左右されると思う。町内で、同日同時時間帯の開催事業は、できるだけ日程調整してずらしてもらえると参加者も増加するだろうと思う。
- ③ 文化センターの施設の老朽化に関し、改修時に既存不適格の指摘を受け、改修が困難になることが想定される。町内既存他施設への使用場所変更等、合理化を図る必要があると感じる。

なお、文化センターの中に入ると無機質なコンクリートが目につくので、エルデホールのようにもう少し明るい色調になれば、“入りたくなる文化センター”になるかと思う。

- ④ エルデホールでは、地域住民に人生の生きがいや楽しみを与えている。コロナの影響が徐々になくなってきて、これからさらに文化事業が進んでいくと思われる。自主事業については、多種多様な企画があり、楽しめた。早々に完売する事業については、出演に関する費用や出演者の都合にもよるが、2部構成などできないだろうか。

また、コロナ禍が落ち着いたこともあり、貸館使用料収入が増加傾向にあるので、今後を期待したい。

なお、限られた字数の中で、各回の効果や達成度の振り返り、リフレクションが丁寧にご報告されているため、非常に具体的に事業運営を理解することができた。

- ⑤ 文化センター、エルデホール、研修センター、その他の事業、イベントについては、ペーパーレスとも言われているが、白黒輪転機印刷でも良いので印刷し、どんどん各自治会の隣保回覧や町放送（留守や室内にいて聞こえていない人もいるが）を活用し広報すればよいと思う。

7. 図書館事業

- ① 絵本等で幼児期に利用している人ほど、継続的に図書館を利用していると感じる。今後も、これまでどおり、利用者増に努めていただきたい。
- ② 図書館だよりが隣保回覧されているのは、図書館の活動を知ってもらい利用者を増やすのに良い啓発になっている。

8. 文化財事業

- ① 県立福崎高校が発展的統合で新しい高校に変わり、新しい学習指導要領により、探究活動を推進すると聞いている。高校の探究活動と連携し、福崎町の文化財の価値をさらに高められることを願う。
- ② 文化財保護に関して、ワークショップが開催されたことは、地域住民の関心を高めることに役立ったと感じる。未整理の出土遺物については、ボランティアとして整理に関する研修会を実施後、その方々に手伝っていただくことも検討してよいのではと考える。

9. 社会体育事業

- ① 青少年野外活動センターの使用の申込方法について、来庁、FAX、郵送となっているが、ぜひネットで申し込めるようにしていただきたい。申込が手軽にできると、もっと利用者増が期待できる。

“誰でも利用できる”ということが、まだまだ知られていないというか忘れられていると思う。インターネットを利用した広報の他に、図書館や他のイベント・事業のように、申込方法や利用料金などを隣保回覧してみてもどうか。

- ② 子ども会活動について、個人で参加できるものは別として、チームでとなると厳しいものがあると感じる。田原小校区では各子ども会の人数差が激しく、参加しにくい子ども会がある。加えて、練習等が土日に実施され、大会運営においても一部の保護者の負担が大きくなっているため、参加を敬遠する子ども会があると聞いている。

球技大会は、事前に練習の必要が少ないドッジボールなどに種目を変更しなければ、継続が難しくなると感じている。

しかし、子どもたちの健全な成長のために、やはり外へ出る機会は少しでも多い方がよいと考える。スポーツ少年団やスポーツ協会と連携して何かより良い方向は見いだせないものかと思う。

- ③ 町民グラウンドやスポーツ公園では、利用者が安全・快適に利用できるよう、点検や清掃がされ、加えて施設修繕がなされて、より便利に利用できるようになった。町民の健康増進に欠かせない施設であるので、今後もこれまで同様、施設修繕・点検・清掃等を継続していただきたい。
- ④ さるびあドームは、知名度も上がり、イベント等も開催され、地域コミュニティの形成にも貢献している。
- ⑤ スケートボード場は、オリンピックでの日本選手のメダル取得もあり、競技人口が増えつつある。ヘルメット未着用による事故防止など、安全面への配慮をさらに進めていただきたい。
- ⑥ 町内に複数のスポーツ等ができる広場があることは、町民の財産でもある。これも

利用の仕方、申込方法等を広報ふくさきだけでなく、隣保回覧もして知らせる（最低年に一度は）ことができれば、さらに利用が増えるだろう。

- ⑦ スポーツクラブを優先して予約を取っていることは、制度上やむないとありますが、一般クラブや単発で利用したい人にとっては、不満が残ると感じる。また、クラブによっては、長時間の練習をしているとも聞く。中学校の部活動が3時間程度との指針がでているので、開放時間についても、小・中・高校生が利用する場合は、時間制限が必要であると感じる。
- ⑧ 地域スポーツクラブ活動の経費補助など、地元校区で気軽にスポーツができる環境づくりをされている。施設との連携やさまざまな方へのアプローチで、さらなる地域スポーツの活性化が課題である。大学との新しい連携も考えていければと思う。
- ⑨ 最近、短時間で気軽に利用できるスポーツジムが人気となっている。第1体育館トレーニング室の利用料が安価であるので、広報することで、さらなる利用者増を期待する。
- ⑩ 自治会親善ソフトボール大会は、こちんまりした福崎町でこそできる取組であり、選手・その家族・各自治会の人々の交流を促すことができる。

令和5年12月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療未来大学教授 野 本 玲 子

兵庫県立福崎高等学校校長 齋 藤 勝

住民代表 川 端 久美子

V 參考資料

「志」の芽を育てる 福崎の教育

～ 子どもの 心に「灯」をともし 学校教育

町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育 ～

<努力目標>

1 就学前保育・教育

- 1) 豊かな情操と思いやりの感性を育てる「環境づくり」に努める。
- 2) 個性の尊重と社会性の基礎づくりに努める。
- 3) 3カ所の子育て支援施設での、相談等の子育て支援の機能をさらに充実する。
- 4) 「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」による取組を推進する。

2 学校教育の充実

- 1) 「いのち」の教育
 - ① すべての命のかけがえのなさや畏敬の念を育む人づくりに努める。
 - ② 危機管理意識の向上に努め、防災教育・学校防災体制をさらに充実する。
- 2) こころ豊かな人間性と自立する人づくり
 - ① 人格の完成をめざし、個性を尊重した取組に努める。
 - ② 日々の地道な実践の積み重ねを重視する。
 - ③ 学びを支える教育環境の充実と「生きる力」を育む環境づくりに努める。
- 3) 学力保障・進路保障
 - ① 「わかる授業」に努める。
 - ア) 引き続き、教材研究と指導方法を工夫する。
 - イ) 学力向上委員会をさらに機能させ、「福咲学力アップタイム」をさらに充実する。
 - ウ) 朝読書を工夫したり町立図書館とも連携し、読書意欲と読書習慣を強化する。
 - エ) 「人生100年」に通じる生涯学習の基盤づくりを行う。
 - ② 「ふるさと 福崎」「我が母校」を愛する児童生徒を育む。
 - ③ ICT教育、外国語教育（活動）、道徳教育をさらに充実する。
 - ④ 夢や希望を大切にすることと意欲を醸成する。
- 4) 特別支援教育
 - ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の構築及び合理的配慮の提供に努める。
 - ② 校内指導体制を確立し、組織的なインクルーシブ教育を推進する。
 - ③ 保護者の「思い」「願い」に寄り添い、町内統一のサポートファイルを活用する。
 - ④ 効果的な通級指導に努める。

- ⑤ 特別支援教育コーディネーターを中心に、校内研修や関係機関との連携を推進する。

5) 人間的なふれあいによる生徒指導

- ① 学級や学校で疎外されがちな子やくらしに課題がある児童生徒を中心にすえ、ひとりの「いたみ」や「つらさ」をみんなで共有・共感し、ともに明るい展望が持てる仲間づくりに努める。
- ② 児童生徒の生育歴や家庭環境に配慮した、生徒理解に努める。また、児童生徒の多面性に留意した生徒理解・生徒指導を行う。
- ③ いじめ・不登校に対して、仲間や関係機関との連携・協力により課題解決に取り組む。
 - ア) いじめに対して、早期認知と早期対応を継続する。
 - イ) 不登校・不登校傾向の児童生徒に対して保護者や関係機関との連携を密にしながら、早期対応により個々の居場所づくりに努め、社会的自立と自己実現に努める。
 - ウ) 児童生徒及び保護者の悩みや思いを親身に受け止められる相談体制を構築する。
- ④ 様々な課題に対して、学校長の指導のもと全教職員で共通理解し、組織的に指導する。
- ⑤ 福崎町の不登校指導員、学習支援員と連携し工夫して指導にあたる。

6) 体験活動

- ① 充実感・達成感及び所属感や自己有用感を高める体験活動を重要視する。
- ② 感動・感激、実感・体感を与える活動になるよう、さらに工夫する。

7) 人権教育

- ① ふだんの学校生活のなかで、人権意識が尊重される人権文化の確立に努める。
- ② 児童生徒、校区、地域、町の実態に即し、現実に関心する人権教育を行う。
- ③ ヤングケアラーと児童虐待の早期発見・早期対応に努める。
- ④ 情報モラル・セキュリティ意識の醸成に努めながら、情報活用能力を育成する。
- ⑤ 生活面・学習面での配慮や支援を要する児童生徒への支援に努める。
- ⑥ 同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、性的少数者など人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
- ⑦ 生命の尊厳を第一に、教育の主体性、中立性を堅持する。

8) 食教育

- ① 生涯を通じた健全な食生活の基礎づくりとして、健康への関心、食文化の継承、自らの食について考える習慣、食に関する知識、食を選択する判断力を育成する。
- ② 「地産地消」、「不時不食」（旬の食材）、「もちむぎ」などの地元産の食材利用に努める。
- ③ 学校栄養教諭による食教育の充実と安全・安心な学校給食の提供に努める。
- ④ 異物混入をなくすため、引き続き関係機関と連携した、指導を継続する。
- ⑤ 給食の残飯量を減らす取り組みを継続する。

9) 放課後児童クラブ（学童保育園、放課後子ども教室）

- ① 定期的な学童保育園長会等により、園長と指導員の資質能力の向上を推進する。
- ② 学童保育園における健全育成及び安全の確保に努める。
- ③ 活動環境の整備・改善に留意し、安全性に努める。

10) 業務改善

- ① 「教育職員の業務の量の適切な管理に関する規則」（町教育委員会規則 令和2年4月施行）および兵庫県「教職員の勤務時間適正化プラン」（平成29年4月策定）に基づき推進

する。

- ② 学校のトラブル発生時、教育委員会は積極的に指導助言にあたる。
- ③ 校務支援ソフト（平成29年度に導入）等を活用し、校務の効率化に努める。
- ④ 主幹教諭等のミドルリーダーの育成に努める。
- ⑤ 「共同学校事務」と「学校事務員の標準的な職務」を通じた事務機能の強化に努める。
- ⑥ 教職員の「変形労働時間制」の効果的運用を検討する。
- ⑦ 業務改善の名の下、児童生徒と保護者への関わりを疎にしない。

3 家庭の教育力

- 1) 各校の実態に応じた家庭教育学級（小学校・中学校）
 - ① 子育てについて、保護者の「願い」「思い」や今日的に学ぶ必要のある課題に対応した研修会及び講演会の内容を工夫し、保護者の教育力の向上と子育て支援に努める。
 - ② 家庭へ積極的に情報を提供し、学校と子育て情報や課題を共有し連携して取り組む。
- 2) 家庭教育の重要性の継続した啓発
- 3) PTA 活動を活性化するための工夫

4 社会教育・地域の教育力

- 1) 青少年の健全育成
 - ① 研修会、講演会等により地域住民の青少年健全育成意識や協力体制を醸成する。
 - ② 啓発リーフレットや広報車等を活用した啓発活動により、「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりや犯罪への抑止力に継続して取り組む。
- 2) 地域住民の幅広い参画
 - ① 青少年補導委員会やPTCA活動と連携する。
 - ② 地域教育推進委員会（県民交流広場）の活動を支援し、各委員会相互の連携を図る。
- 3) 学校支援地域本部事業
 - ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を「学校教育」に活かす取組を進める。
 - ② 学校支援者が自らの「生き方」につながる活動を創造する。
- 4) 部活動の地域移行（地域部活動）への研修と検討
- 5) コミュニティスクールについての研修と検討
- 6) 関係機関との「相互連携制度」の研修と検討

5 社会教育・生涯学習

- 1) 郷土への愛着と誇りをもつ児童生徒の育成
 - ① 二人の名誉町民（柳田國男先生・吉識雅夫先生）の顕彰を継続する。
 - ② 地域の歴史や文化をテーマに、優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈るとともに、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。
 - ③ 柳田國男先生ゆかりの岩手県遠野市との友好都市交流事業を継続する。（児童交流とともに「遠野物語」の原風景にふれたり東日本大震災の後方支援等の学習内容を他の児童生徒へも活かす）
 - ④ 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学・理数分野

で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、「吉識雅夫科学賞」を贈る。また、広く町民に向けても氏の業績を発信するよう努める

⑤ 「ふるさと学習」のより効果的な在り方に努める。

2) 文化・芸術活動（図書館、エルデホール）

① 図書館では、住民の自主的な学習拠点として、蔵書を充実させ、快適で安全な利用しやすい図書館運営に努める。

② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき事業を展開する。

③ 町内小中学生に配布している「読書ノート」を効果的に活用し、読書への関心を高め、読書する環境づくりに努める。また、図書館来館のきっかけづくりを工夫する。

④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動に努める。

⑤ 図書館の町内在住者の利用を増やすため、大人向けイベントを工夫する。

⑥ 蔵書構成の見直しやギャラリーの有効活用による図書館利用を推進する。

⑧ エルデホールの自主事業は、テーマに分けて実施する。より多くの方に自主事業に会場していただくよう情報発信を工夫する。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業の実施や住民が参加できるような企画づくりを工夫する。

3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こし・保存・活用

① 地域の文化財及びその周囲を含め総合的に把握し活用するため、福崎町文化財保存活用地域計画を令和3年度から令和4年度の2カ年で作成する。今後も継続して、福崎町文化財保存活用地域計画協議会を開催し計画内容を検討する。

② 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。

③ 柳田國男・松岡家記念館では、松岡五兄弟の顕彰に努める。

④ 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産の掘り起こしに努める。

4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館

① 文化ゾーンとしての軸として、文化財の保存・活用を推進する。

② 9回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を継続する。

③ 第43回山桃忌は、8月6日（土）と8月7日（日）に開催する。

④ 多くの人が、「民俗学」を身近なものとして捉えられるよう工夫する。

⑤ 大庄屋三木家住宅では資料整理・展示公開等を継続的に実施する。

⑥ 三木家資料收藏のための收藏施設兼展示場の効果的な活用を工夫する。

⑦ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅が住民に愛され親しみのある施設となるよう取り組む。

⑧ 住民の埋蔵文化財への関心を醸成する。

5) スポーツ・レクリエーション活動

① 社会体育、野外活動などの環境づくりを推進する。

② スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の発展に努める。

③ 総合型地域スポーツクラブをサポートする。

④ 町民の体力向上に引き続き工夫して取り組む。

⑤ 青少年野外活動センターの広報活動を工夫し、利用促進に取り組む。

6) 公民館活動

- ① 参加しやすく魅力ある活動にする運営に努める。
- ② 学習や活動を通じて、人と人との交流を深め、生きがいを高める。
- ③ 学習成果を地域にいかす取組を工夫する。
- ④ 多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容のさらなる充実に努める。
- ⑤ 若年世代の参加を図るため工夫する。
- ⑥ 学習機会の充実に努める。
- ⑦ 老人大学のさらなる充実に努める。
- ⑧ 文化センターのあり方を検討する。

7) 人権に関する学習

- ① 一人ひとりの人権が尊重され、心と心が豊かにつながる「地域づくり」に努める。
- ② 自治会研修会の工夫と活性化に努める。
- ③ 男女共同参画基本計画に基づき、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。

6 開かれた教育委員会

- 1) 「総合教育会議」等で町長部局との連携を強め、よりよい教育行政に努める。
- 2) 所管施設の現状と利用者の要望を認識するために、定期的・臨時的に所属長との面談や現場視察に努める。
- 3) 各種取り組みにおいて、先進地の視察など教育委員の研鑽に引き続き努める。
- 4) 「事務事業評価」を引き続き実施・公表し、「開かれた教育委員会」に努める。
- 5) 教育委員会制度を、より発展的・効果的な制度になるよう努める。
- 6) 福崎町のために、すべての子ども・職員・教職員が元気に活動できるように努める。
- 7) 会議録の表記法等を分かりやすくするよう工夫する。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

2 委員会は、教育長が招集する。

3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。